

3月 は「自殺対策強化月間」です。児童生徒の自殺は学校の長期休業明けの前後の時期に増加する傾向があることを踏まえ、保護者、地域住民、関係機関等と連携の上、児童生徒の自殺予防に係る取組を実施していただくようお願いいたします。

7 初児生第 2 9 号
令和 8 年 2 月 2 7 日

各都道府県教育委員会指導事務主管課長
各指定都市教育委員会指導事務主管課長
各都道府県私立学校主管課長
附属学校を置く各国立大学法人担当課長
附属学校を置く各公立大学法人担当課長 殿
小中高等学校を設置する学校設置会社を
所轄する構造改革特別区域法第 12 条
第 1 項の認定を受けた各地方公共団体の担当課長

文部科学省初等中等教育局児童生徒課長

千々岩 良英
(公 印 省 略)

児童生徒の自殺予防に係る取組について（通知）

標記については、これまでも自殺対策基本法（平成 18 年法律第 85 号）等に基づき、学校等において、児童生徒の自殺予防の取組の充実に取り組んでいただいているところです。

しかしながら、厚生労働省・警察庁の自殺統計（暫定値）によると、令和 7 年の児童生徒の自殺者数は、532 人（令和 6 年確定値：529 人）と過去最多となる見込みであることが明らかになりました（別添資料 1）。如何なる事情であれ、子供たちが自ら命を絶つようなことはあってはならず、極めて重大に受け止める必要があります。

児童生徒の自殺は、長期休業明けの前後に増加する傾向にあり、児童生徒の尊い命を救うため、特に長期休業の開始前から長期休業明けの時期にかけては、学校として、児童生徒の自殺予防について組織体制を整え、取組を強化することが必要です。

また、令和 6 年の児童生徒の自殺の原因・動機として、学校問題のうち、約 5 割が学業不振や入試、進路に関する悩みであることが分かっており（別添資料 2）、特に、3 月は進学、進級や就職を間もなく迎える時期であることから、成績や進路等に関する悩みを抱える児童生徒も多くいると考えられるため、進路指導の充実や見守り活動を丁寧に実施していただくようお願いします。

さらに、令和 4 年 10 月 14 日に閣議決定された「自殺総合対策大綱」においては、3 月を

「自殺対策強化月間」と定め、自殺対策強化月間においては、「国、地方公共団体、関係団体、民間団体等が連携して「いのち支える自殺対策」という理念を前面に打ち出し、「自殺は、その多くが追い込まれた末の死である」「自殺対策とは、生きることの包括的支援である」という認識の浸透も含めて啓発活動を推進する。あわせて、啓発活動によって援助を求めるに至った悩みを抱えた人が必要な支援が受けられるよう、支援策を重点的に実施する。」と示しています。

つきましては、長期休業の開始前から長期休業明けにおける児童生徒の自殺予防に向けた取組に関し、下記のとおり、学校として、保護者、地域住民、関係機関等と連携の上、全力で取り組んでいただくよう、お願いいたします。

また、こども家庭庁からは各都道府県・指定都市・中核市こども政策担当部局長に対して、「令和7年の自殺者数(暫定値)の公表を踏まえたこどもの自殺対策に係る取組について(通知)」(令和8年2月18日付けこ支総第51号こども家庭庁支援局総務課自殺対策室長通知)が発出されていますので、こども政策担当部局等とも連携し、児童生徒の自殺予防に取り組んでいただくようお願いいたします(別添資料3)。

これらのことについて、都道府県・指定都市教育委員会担当課におかれては所管の学校等及び域内の市(指定都市を除く。)区町村教育委員会に対して、都道府県私立学校主管課におかれては所轄の学校法人等を通じてその設置する学校に対して、国公立大学法人附属学校事務主管課におかれてはその設置する附属学校に対して、構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社担当課におかれては所轄の学校設置会社及び学校に対して、周知を図るとともに、児童生徒の自殺予防について特段の御配慮をお願いします。

記

1. 学校における早期発見に向けた取組について

各学校において、長期休業の開始前から、アンケート調査、教育相談等を実施するとともに、一人一人に対して面談を行うなど、悩みや困難を抱える児童生徒の早期発見に努めること。

その際、児童生徒の心や体調の変化や、個別の児童生徒の状況を多面的に把握するICTツールを適切に活用することにより、教職員がこれまで気付いていなかった児童生徒の心身状態に気付くことができ、教職員の児童生徒理解の幅が広がり、悩みや不安を抱えた児童生徒の早期発見や早期支援につながると考えられる。

「こどもの自殺対策緊急強化プラン」(令和5年6月2日こどもの自殺対策に関する関係省庁連絡会議決定)では、「1人1台端末の活用等により、自殺リスクの把握や適切な支援につなげるため、有償・無償で利用できるシステムやその活用方法、マニュアル等を整理・作成し、全国の教育委員会等に周知し、全国の学校での実施を目指す」としていることを踏

まえ、文部科学省においては、児童生徒の心や体調変化の早期発見のため「1人1台端末を活用した心の健康観察」の導入（※）を推進しているところ、今年度から、学校のICT環境整備3か年計画（2025～2027年度）における、1人1台端末を活用した児童生徒の学校生活を支援するツール（例：児童生徒の心や体調の変化を早期に発見し、支援するツール）の整備に必要な経費を踏まえて地方財政措置が講じられている（別添資料4）。

以上を踏まえ、各教育委員会及び学校においては、1人1台端末の活用等による心の健康観察などによるSOSの早期把握に努めるとともに、その結果を学級担任だけでなく管理職、養護教諭等が確認できるようにするなどして、学校内で速やかに情報が共有され迅速に対応できる体制を構築し、児童生徒の自殺の未然防止に取り組むこと。

また、全ての教職員が児童生徒の自殺のサインを見逃すことなく、的確な対応ができるよう、「教師が知っておきたい子どもの自殺予防」や生徒指導提要（改訂版）を参考に、児童生徒の自殺予防に関する校内研修を実施すること。

さらに、学校が把握した悩みや困難を抱える児童生徒や、いじめを受けた又は不登校となっている児童生徒等に対しては、長期休業期間中においても、全校（学年）登校日、部活動等の機会を捉えた面談の実施や、保護者への連絡、家庭訪問等により継続的に児童生徒の様子を確認すること。

また、児童生徒の自殺の背景の一つとして精神疾患が挙げられていることを踏まえ、学級担任や養護教諭等を中心としたきめ細やかな健康観察や教育相談の実施等により、児童生徒の状況を的確に把握し、スクールカウンセラー等による支援を行ったり、スクールソーシャルワーカー等を活用して医療等の関係機関に繋いだりするなど、心の健康問題への対応を徹底すること。

○教師が知っておきたい子どもの自殺予防

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/046/gaiyou/1259186.htm



○生徒指導提要（改訂版）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008_00001.htm



（※）「1人1台端末を活用した心の健康観察」の導入に当たっては、文部科学省において、1人1台端末等を活用して、無償・有償で利用できる健康観察・教育相談システムを別添資料5のとおり整理するとともに、Google フォーム又はMicrosoft Forms を活用して同様の

アンケートフォームを作成するためのマニュアルを別添資料6のとおり作成しているので、合わせて参照いただきたい。なお、利用にあたっては各自治体における教育情報セキュリティポリシー等もあわせてご確認ください。

○教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン(令和7年3月)

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1397369.htm



2. 教育相談体制の構築や学校を中心とした組織的な対応等について

生徒指導提要(改訂版)に記載しているとおり、自殺への対応については、専門家といえども一人で抱えることができないほど重く、かつ困難な問題であり、きめ細かな継続的支援を可能にするためには、校内の教育相談体制を基盤に、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーや関係機関の協力を得ながら、全教職員が自殺予防に組織的に取り組むことが必要である。そのため、校内研修会などを通じて、教職員間の共通理解を図るとともに、実効的に機能する自殺予防のための教育相談体制を築くこと(詳細は、別添資料7参照)。

その上で、児童生徒が自殺をほのめかしたり、深刻な自傷行為に及んだりするなど、自殺やその他の重大な危険行為の予兆を捉えた際には、教職員が一人では抱え込まず、教育相談体制の構成メンバーを基盤に、校長をリーダーとする「校内連携型危機対応チーム」を組織し、危険度に応じた対応を行うこと。また、平常時に、危機対応のための態勢づくりやマニュアルづくりなどを進めておくこと。

さらに、実際に自殺や自殺未遂が発生した場合には、校長のリーダーシップの下、「校内連携型危機対応チーム」を中心にしつつも、学校だけで抱え込むのではなく、教育委員会等や専門家、関係機関のサポートを受けながら、全教職員の力を結集して対応することが必要であり、校内連携型危機対応チームを核に、教育委員会等、専門家、関係機関との連携・協働に基づく「ネットワーク型緊急支援チーム」を立ち上げ、周囲の児童生徒や教職員等への心のケアも含めた対応に当たること(詳細は、別添資料8参照)。

3. 相談窓口の周知及び自殺予防教育の実施等について

「SOSの出し方に関する教育」を含めた自殺予防教育を実施すること等により、児童生徒自身が心の変化や危機に気づき、身近な信頼出来る大人に相談できる力を培うとともに、児童生徒が安心してSOSを出すことのできる環境の整備に努めること。

さらに、「24時間子供SOSダイヤル」を始めとする電話相談窓口や、SNS等を活用した相談窓口の周知を積極的に行うこと。なお、相談窓口の周知にあたっては、教室など児童生徒が気づきやすい場所への掲示や1人1台端末を活用する際のポータルサイト、ブラウザのお気に入り機能等を活用して、各種相談窓口を周知するなどの方法も考えられる。また、複数の相談窓口を周知する場合は、悩みや不安を抱える児童生徒がどこに相談すべきか混乱して

しまわないよう、必要に応じて相談窓口を整理し、周知すること。その際、文部科学省でまとめたホームページも参考にすること。

(※) 自殺予防教育については、「子供に伝えたい自殺予防－学校における自殺予防教育導入の手引－」を参照。

○子供に伝えたい自殺予防－学校における自殺予防教育導入の手引－

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/063_5/gaiyou/1351873.htm



○子供の SOS の相談窓口

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm



4. 保護者に対する家庭における見守りの促進

保護者に対して、長期休業期間中の家庭における児童生徒の見守りを行うよう促すこと。保護者が把握した児童生徒の悩みや変化については、積極的に学校に相談するよう、学校の相談窓口を周知しておくこと。その際、「24 時間子供 SOS ダイアル」を始めとする電話相談窓口や、SNS 等を活用した相談窓口についても、併せて保護者に対して周知しておくこと。なお、これらの各家庭における保護者による見守りについては、長期休業の開始前又は長期休業期間中における保護者会等の機会や学校（学級）通信を通じて、保護者に促すことが考えられる。学校は、保護者から相談を受けた時には、必要に応じて関係機関と連携しながら、適切に対応すること。

5. 学校内外における集中的な見守り活動について

長期休業明けの前後において、学校として、保護者や地域住民の参画を得て、また、関係機関等と連携して、学校における児童生徒への見守り活動を強化すること。さらに、放課後から夜間等における学校外の見守り活動については、保護者又は地域住民その他の関係者が担う体制に委ねつつも、自殺未遂等の事案が発生した場合に速やかに対応することができるよう、教育委員会等において、学校、警察等関係機関、地域の連携を一層強化する体制を構築し、取組を実施すること。その際、警察との連携においては、「いじめ問題への的確な対応に向けた警察との連携等の徹底について（通知）」（令和 5 年 2 月 7 日付け 4 文科初第 2121 号）において指定を求めている「学校・警察連絡員」が情報共有を図り、緊急を要する事案を含め緊密に連携して対応に当たること。特に、学校において、児童生徒が自殺を企図する

可能性が高い場所については、長期休業明けの前後の時期に見守り活動を集中的に実施することが有効であること。

6. ネットパトロールの強化について

児童生徒によるインターネット上の自殺をほのめかす等の書き込みを発見することは、自殺を企図している児童生徒を発見する端緒の一つである。このため、教育委員会等が実施するネットパトロールについて、長期休業明けの前後において、平常時よりも実施頻度を上げるなどしてネットパトロールを集中的に実施すること。自殺をほのめかす等の書き込みを発見した場合は、即時に警察に連絡・相談するなどして当該書き込みを行った児童生徒を特定し、当該児童生徒の生命又は身体の安全を確保すること。また、警察等関係機関においてネットパトロールが実施されている場合には、当該関係機関との積極的な連携に努めること。

7. 進級・進学等に係る学校間での引継ぎの徹底

3月から4月にかけては進級・進学の時期であり、環境の変化から悩みや不安を抱える児童生徒が増える時期でもある。各学校においては、進級・進学後に支援が途切れることのないよう、特に学校が把握した悩みや困難を抱える児童生徒や、いじめを受けた又は不登校となっている児童生徒については児童生徒の状況について丁寧な引継ぎを行い、継続的な見守り体制の構築に努めること。

なお、学校間での引継ぎについては、口頭での説明の他、書面を通じて情報共有を図ることも必要であり、指導要録への記載や「児童生徒理解・支援シート」等の活用も考えられること。

【添付資料】

別添資料1：【令和7年（暫定値）】小中高生の自殺者数の年次推移

別添資料2：小中高生の原因・動機別件数（令和6年と令和5年の比較）

別添資料3：「令和7年の自殺者数（暫定値）の公表を踏まえたこどもの自殺対策に係る取組について（通知）」（令和8年2月18日付けこ支総第51号こども家庭庁支援局総務課自殺対策室長通知）

別添資料4：1人1台端末等を活用した「心の健康観察」の導入推進

別添資料5：1人1台端末を活用した健康観察・教育相談システム一覧（令和8年2月）

別添資料6：健康観察・教育相談アンケート作成マニュアル（令和8年2月）

別添資料7：自殺予防のための教育相談体制の構築（生徒指導提要抜粋）

別添資料8：自殺危機の早期発見・早期対応や自殺未遂後の対応

【参考資料】

○「子どもの自殺が起きたときの緊急対応の手引き」

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2016/11/11/1304244_01.pdf



○小学生用啓発教材「わたしの健康」、中学生用啓発教材「かけがえのない自分 かけがえのない健康」、高校生用啓発教材「健康な生活を送るために」

http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1353636.htm



【担当】

文部科学省初等中等教育局児童生徒課
生徒指導室生徒指導企画係

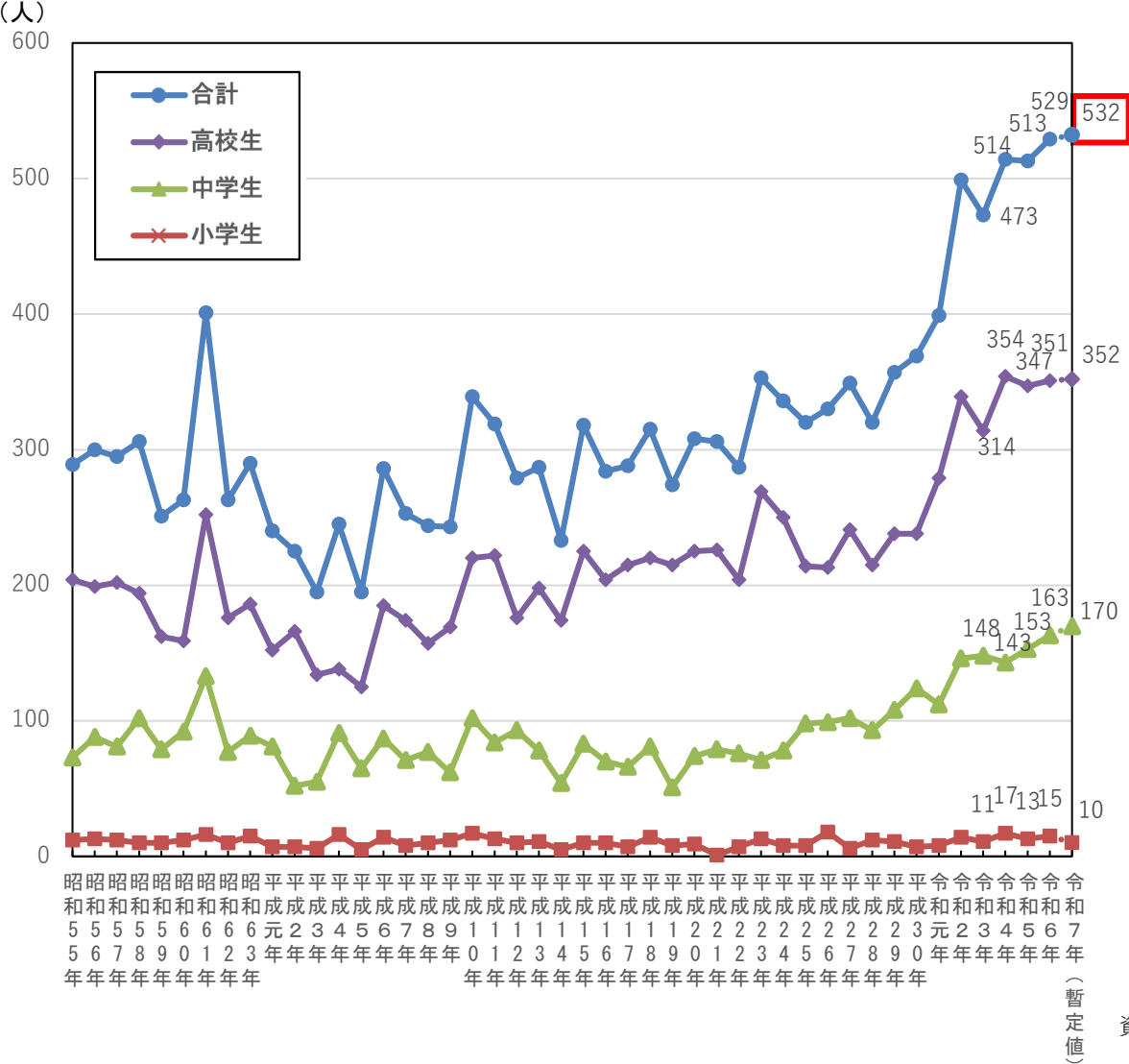
電 話 03（5253）4111（内線3298）
03（6734）3298（直通）

E-mail s-sidou@mext.go.jp

【令和7年（暫定値）】小中高生の自殺者数年次推移

令和8年1月29日現在

○小中高生の自殺者数は、近年増加傾向が続き、令和7年（暫定値）では532人と、統計のある1980（昭和55）年以降で最多となっている。



【令和6年、令和7年（暫定値）】
小中高生の自殺者数年次比較

	令和6年	令和7年 (暫定値)	対前年増減数 (R7-R6)
合計	529人	532人	3
小学生	15人	10人	-5
中学生	163人	170人	7
高校生	351人	352人	1

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省自殺対策推進室作成

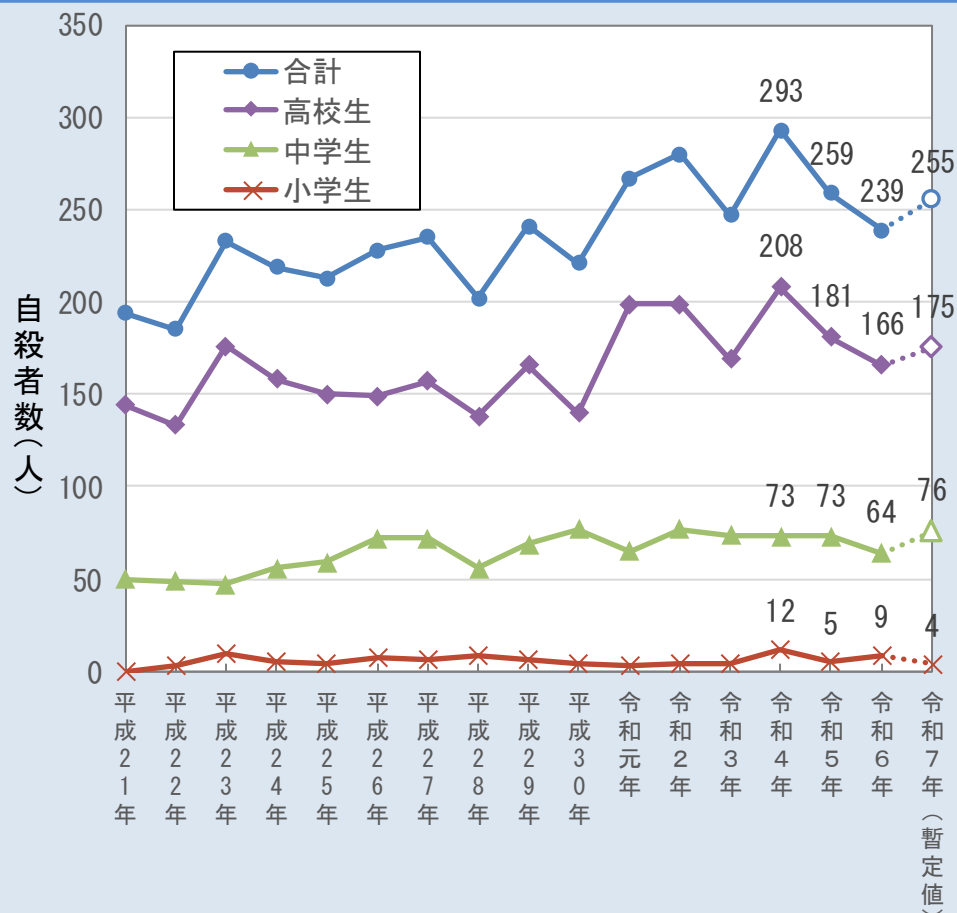
【令和7年（暫定値）】小中高生の自殺者数年次推移（男女別）

令和8年1月29日現在

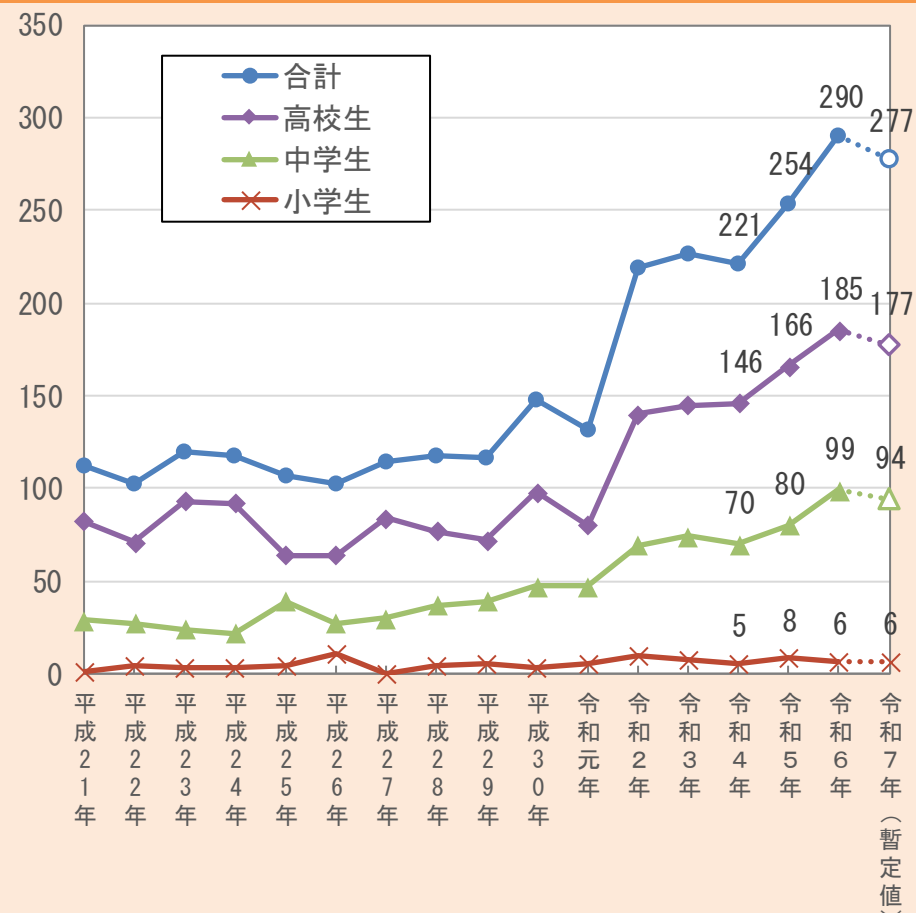
○小中高生の自殺者数を男女別にみると、男性は3年ぶりに増加し、女性は3年ぶりに減少した。

○前年に引き続き、女性が男性を上回った。

男性



女性



小中高生の原因・動機別件数（令和6年と令和5年の比較）

令和7年3月28日現在

（単位：件）

令和6年		家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	計	学校問題								その他	不詳
								学業不振	入試に関する悩み	進路に関する悩み（入試以外）	いじめ	学友との不和（いじめ以外）	教師との人間関係	性別による差別	学校問題その他		
小学生	総計	5	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	1	4
	男性	3	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	女性	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
中学生	総計	52	41	1	0	7	81	14	12	9	5	23	2	0	16	18	25
	男性	24	11	0	0	5	28	7	7	3	2	3	1	0	5	7	13
	女性	28	30	1	0	2	53	7	5	6	3	20	1	0	11	11	12
高校生	総計	51	119	4	3	37	189	51	21	42	4	37	6	0	28	35	44
	男性	23	40	3	2	23	98	29	10	20	0	17	5	0	17	20	22
	女性	28	79	1	1	14	91	22	11	22	4	20	1	0	11	15	22
合計	総計	108	164	5	3	44	272	65	33	51	9	60	8	0	46	54	73
	男性	50	54	3	2	28	127	36	17	23	2	20	6	0	23	28	37
	女性	58	110	2	1	16	145	29	16	28	7	40	2	0	23	26	36

（件）

令和5年		家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	計	学校問題								その他	不詳
								学業不振	入試に関する悩み	進路に関する悩み（入試以外）	いじめ	学友との不和（いじめ以外）	教師との人間関係	性別による差別	学校問題その他		
小学生	総計	6	1	0	0	0	3	1	0	0	0	1	0	0	1	4	3
	男性	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	2	2
	女性	5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1
中学生	総計	46	26	1	0	4	92	28	12	12	1	20	2	0	17	19	24
	男性	23	10	1	0	3	43	15	7	7	0	5	0	0	9	9	8
	女性	23	16	0	0	1	49	13	5	5	1	15	2	0	8	10	16
高校生	総計	64	120	4	4	29	166	36	24	41	0	27	4	1	33	36	61
	男性	37	53	2	2	7	109	22	18	29	0	16	3	0	21	21	26
	女性	27	67	2	2	22	57	14	6	12	0	11	1	1	12	15	35
合計	総計	116	147	5	4	33	261	65	36	53	1	48	6	1	51	59	88
	男性	61	63	3	2	10	154	38	25	36	0	21	3	0	31	32	36
	女性	55	84	2	2	23	107	27	11	17	1	27	3	1	20	27	52

前年差		家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	計	学校問題								その他	不詳
								学業不振	入試に関する悩み	進路に関する悩み（入試以外）	いじめ	学友との不和（いじめ以外）	教師との人間関係	性別による差別	学校問題その他		
小学生	総計	-1	3	0	0	0	-1	-1	0	0	0	-1	0	0	1	-3	1
	男性	2	3	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	0	0	0	-1	0
	女性	-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	0	0	1	-2	1
中学生	総計	6	15	0	0	3	-11	-14	0	-3	4	3	0	0	-1	-1	1
	男性	1	1	-1	0	2	-15	-8	0	-4	2	-2	1	0	-4	-2	5
	女性	5	14	1	0	1	4	-6	0	1	2	5	-1	0	3	1	-4
高校生	総計	-13	-1	0	-1	8	23	15	-3	1	4	10	2	-1	-5	-1	-17
	男性	-14	-13	1	0	16	-11	7	-8	-9	0	1	2	0	-4	-1	-4
	女性	1	12	-1	-1	-8	34	8	5	10	4	9	0	-1	-1	0	-13
合計	総計	-8	17	0	-1	11	11	0	-3	-2	8	12	2	-1	-5	-5	-15
	男性	-11	-9	0	0	18	-27	-2	-8	-13	2	-1	3	0	-8	-4	1
	女性	3	26	0	-1	-7	38	2	5	11	6	13	-1	-1	3	-1	-16

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省自殺対策推進室作成

こ支総第 51 号
令和 8 年 2 月 18 日

都道府県
各 指定都市 こども政策担当部（局）長 殿
中核市

こども家庭庁支援局総務課自殺対策室長

令和 7 年の自殺者数（暫定値）の公表を踏まえた
こどもの自殺対策に係る取組について（通知）

こどもの施策の推進につきましては、平素より格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年 1 月 29 日に公表された警察庁・厚生労働省の自殺統計（暫定値）によると、令和 7 年の小中高生の自殺者数が 532 名（令和 6 年確定値：529 人）と過去最多となる見込みであり、大変憂慮すべき状況にあります（別添 1）。

こども家庭庁においては、令和 5 年 6 月に「こどもの自殺対策に関する関係省庁連絡会議」において取りまとめた「こどもの自殺対策緊急強化プラン」（別添 2）に基づき、総合的な施策の推進を図るとともに、第 217 回国会において成立した「自殺対策基本法の一部を改正する法律」（令和 7 年法律第 64 号。別添 3）を踏まえ、昨年 9 月に関係機関において連動性を持って取り組まれるべき施策を「こどもの自殺対策推進パッケージ」（以下「パッケージ」という。）として新たに取りまとめたところです。

こどもの自殺対策については、関係府省一丸となって関連施策を総合的に推進していくことと併せて、地方公共団体が果たす役割も大変重要であり、関係機関や団体の連携・協働を通じ、様々な施策を連動させながら対策を推進していく必要があります。

今般、令和 8 年度予算案の内容を踏まえ、パッケージの記載内容を更新しました（別添 4）。貴職におかれましては、引き続き、こども政策担当部局や教育委員会指導事務主管課、自殺対策主管部局等の関係部局の連携を図りつつ、パッケージ記載の下線部の施策を中心に取り組むことにより、こどもの自殺対策を地域問わず着実にを行い、対策の底上げを図っていただくようお願いいたします。特に未実施の取組については、関連予算の積極的な活用を御検討いただくよう重ねてお願いいたします。

また、貴職におかれましては、自殺対策基本法（平成 18 年法律第 85 号）に基づく自殺対策強化月間（3 月）に向けて、各種相談支援及び啓発事業等に積極的に取り組まれるものと承知していますが、その際には、上記の内容について、十分に御了知の上、関係機関との連携を積極的に進めていただくとともに、関係機関等に周知していただくようお願いいたします。都道府県におかれましては、貴管内市町村（指定都市及び中核市

を除く。)に周知していただくようお願いいたします。

なお、今回の結果を受け、黄川田仁志こども政策担当大臣から本年1月29日に社会全体に向けた緊急メッセージを発信するとともに、こども・若者及びこども・若者に関わる周囲の大人へ向けたメッセージ動画を公開しました(参考1)。これらのメッセージにおいては、こどもが自ら命を絶つことのない社会の実現は社会全体で向き合うべき重大な課題であることを盛り込むとともに、相談窓口の周知を行っています。さらに、こども家庭庁の「悩みを受け止める場に関するプロジェクトチーム」では、こどもの悩みに寄り添える社会に向けて、こども・若者や周囲の大人を対象にした啓発漫画や動画を作成しています(参考2)。加えて、厚生労働省においては、ホームページ「まもろうよ ころ」にて、電話やSNSによる相談窓口や「ころを落ち着けるための Web サイト」等の情報をまとめています(別添5)。こどもの自殺対策に係る取組の推進に当たっては、併せて御活用いただくよう重ねてお願いいたします。

(参考1)

○黄川田仁志こども政策担当大臣によるメッセージ

<https://www.cfa.go.jp/policies/kodomonojisatsutaisaku/minister-message-r7>



○メッセージ動画 YouTube :

【こども・若者向け】

<https://www.youtube.com/shorts/YXn-MQYoPH8>

【大人向け】

https://www.youtube.com/shorts/0kSGg7_mfXs



(参考2)

○こどもの悩みを受け止める場に関するプロジェクトチームの取組

<https://www.cfa.go.jp/councils/nayami-uketomeruba>



【添付資料】

- 別添 1 自殺統計に基づく令和 7 年の年間自殺者数（暫定値）における小中高生の自殺者数の年次推移
- 別添 2 こどもの自殺対策緊急強化プラン
- 別添 3 自殺対策基本法の一部を改正する法律の概要
- 別添 4 こどもの自殺対策推進パッケージ（令和 8 年 1 月更新）
- 別添 5 厚生労働省ホームページ「まもろうよ こころ」

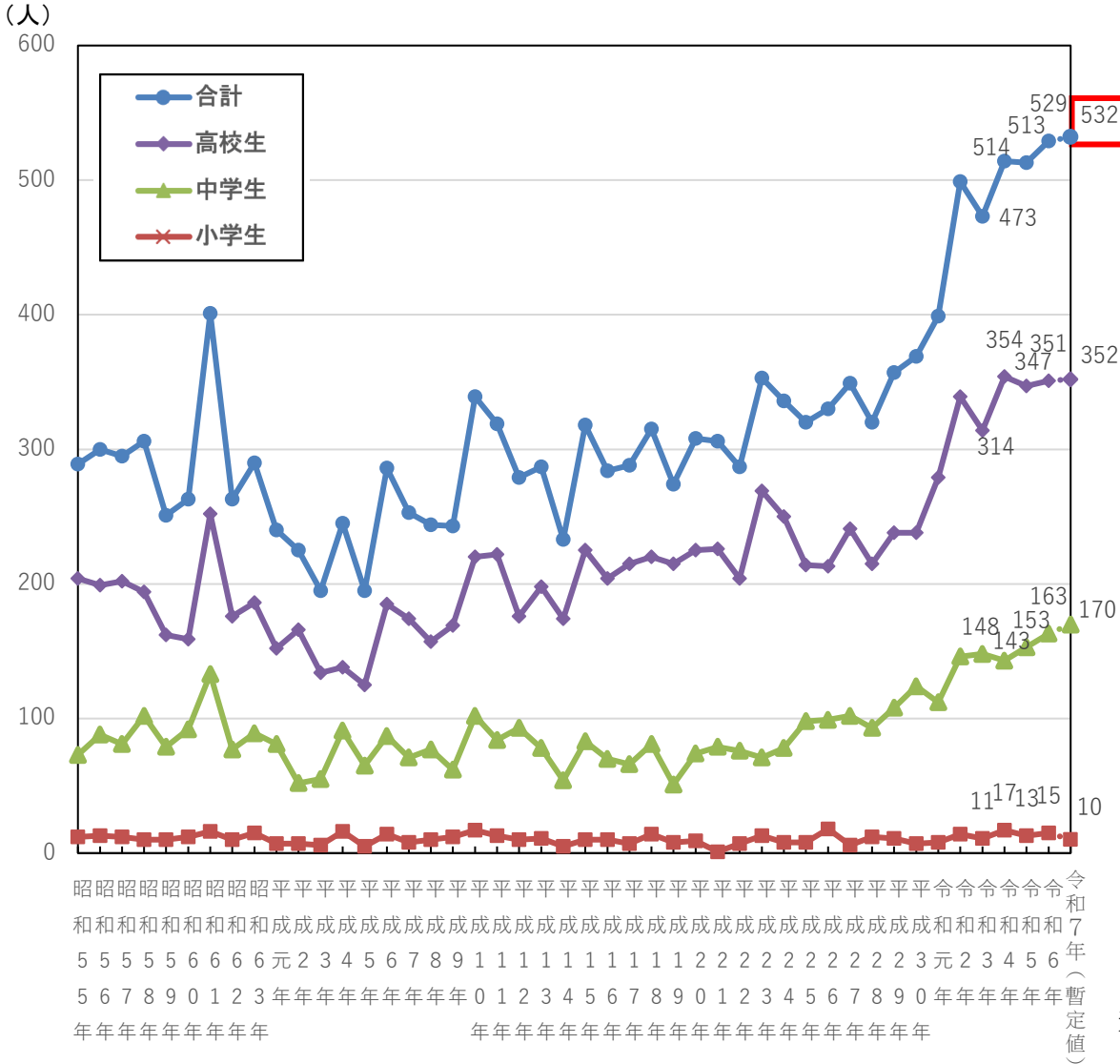
（照会先）

こども家庭庁支援局総務課自殺対策室

電 話：03-3539-8352（直通）

E-mail：shien.kodomonojisatsu@cfa.go.jp

○小中高生の自殺者数は、近年増加傾向が続き、令和 7 年（暫定値）では532人と、統計のある1980（昭和55）年以降で最多となっている。



【令和 6 年、令和 7 年（暫定値）】
小中高生の自殺者数年次比較

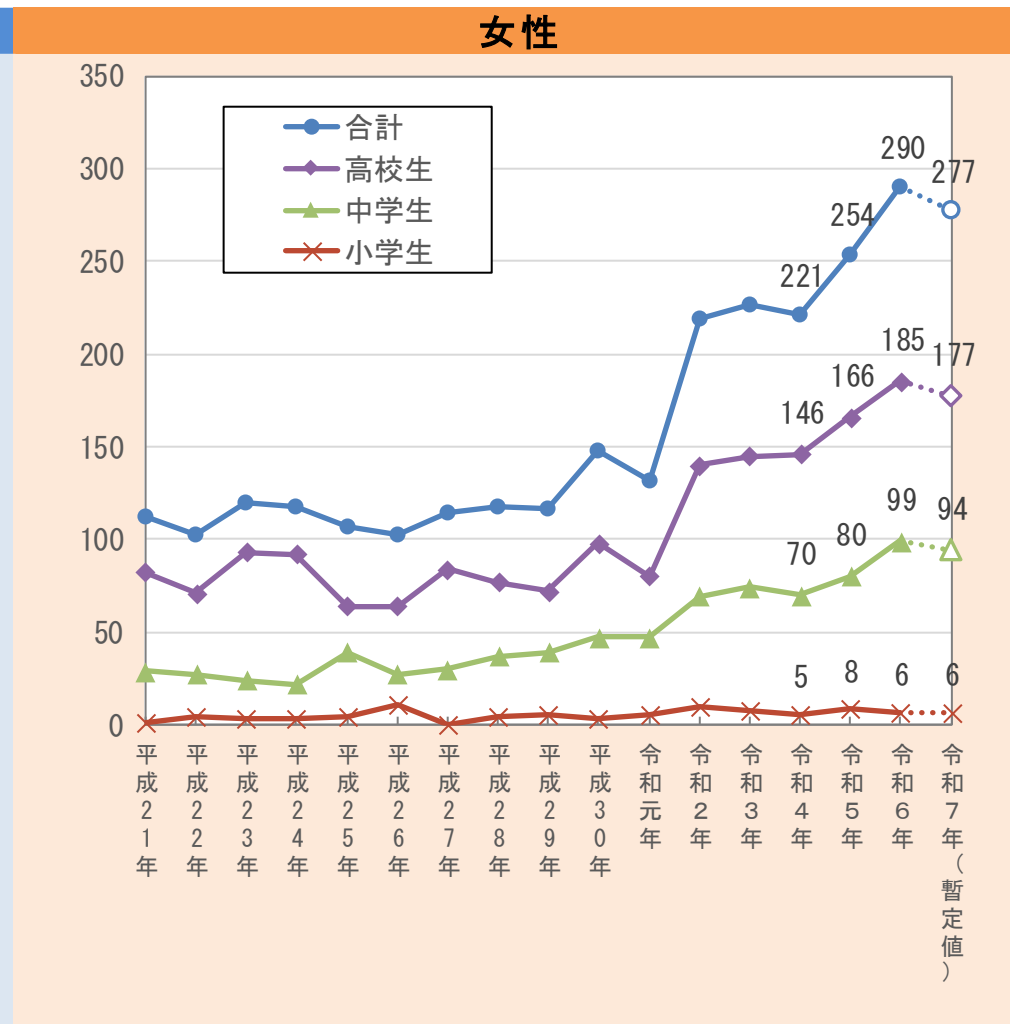
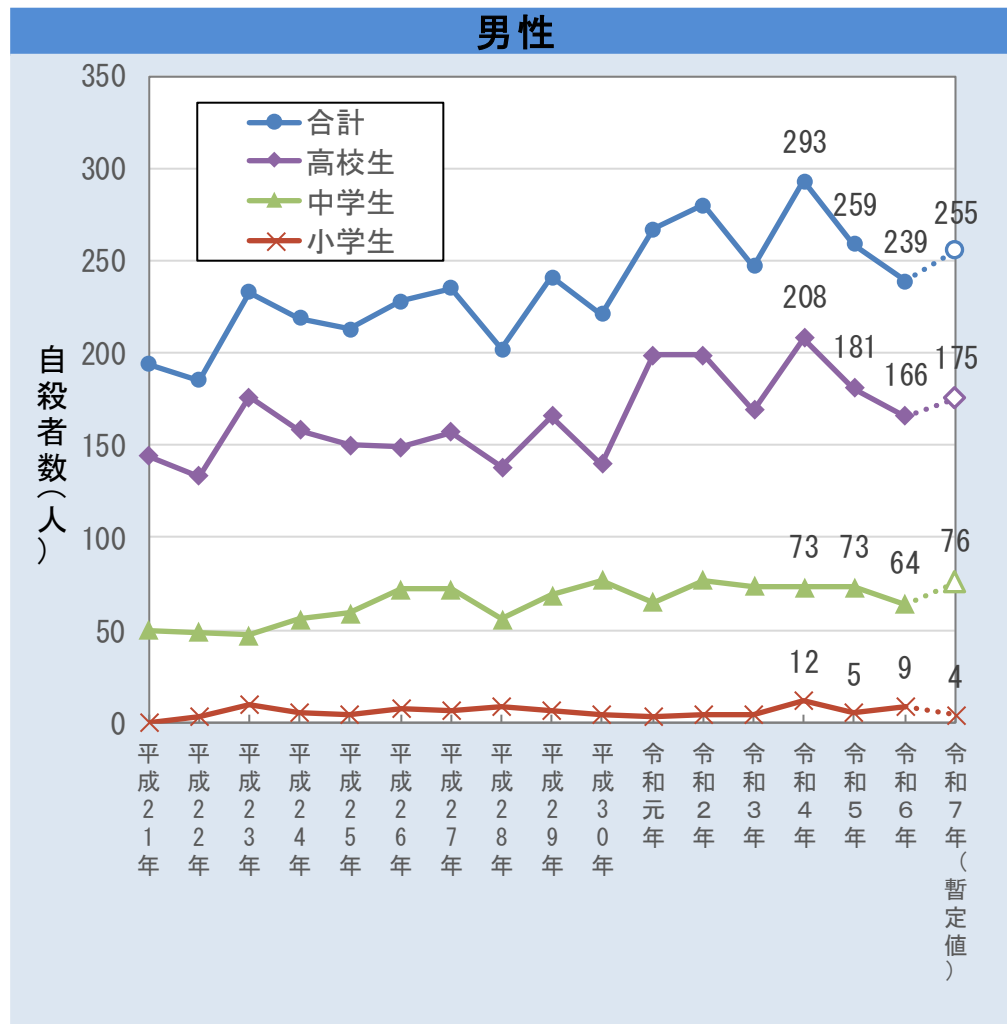
	令和 6 年	令和 7 年 (暫定値)	対前年増減数 (R 7 - R 6)
合計	529人	532人	3
小学生	15人	10人	-5
中学生	163人	170人	7
高校生	351人	352人	1

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省自殺対策推進室作成

【令和7年（暫定値）】小中高生の自殺者数年次推移（男女別）

令和8年1月29日現在

- 小中高生の自殺者数を男女別にみると、男性は3年ぶりに増加し、女性は3年ぶりに減少した。
- 前年に引き続き、女性が男性を上回った。



- 近年、小中高生の自殺者数は増加しており、令和4年の小中高生の自殺者数は514人と過去最多となった。
- 関係省庁連絡会議を開催。有識者・当事者の方々からのヒアリングも踏まえ、こどもの自殺対策の強化に関する施策をとりまとめた。
- このとりまとめに基づき、自殺に関する情報の集約・分析、全国展開を目指した1人1台端末の活用による自殺リスクの把握や都道府県等の「若者自殺危機対応チーム」の設置の推進など、総合的な取組を進めていく。
- 今後、さらにそれぞれの事項についてより具体化を図った上で、こども大綱に盛り込めるよう検討を進める。

こどもの自殺の要因分析

- ・ 警察や消防、学校や教育委員会、地方自治体等が保有する自殺統計及びその関連資料を集約し、多角的な分析を行うための調査研究の実施（自殺統計原票、救急搬送に関するデータ、CDRによる検証結果、学校の設置者等の協力を得て詳細調査の結果等も活用）
- ・ 学校等における児童生徒等の自殺又は自殺の疑いのある事案についての基本調査・詳細調査の実施。国における調査状況の把握・公表 等

自殺予防に資する教育や普及啓発等

- ・ すべての児童生徒が「SOSの出し方に関する教育」を年1回受けられるよう周知するとともに、こどものSOSをどのように受け止めるのかについて、教員や保護者が学ぶ機会を設定
- ・ 「心の健康」に関して、発達段階に応じて系統性をもって指導。「心の健康」に関する啓発資料の作成・周知 等

自殺リスクの早期発見

- ・ 1人1台端末の活用等による自殺リスクの把握のための、システムの活用方法等を周知し、全国の学校での実施を目指す。科学的根拠に基づいた対応や支援のための調査研究
- ・ 自殺リスク含む支援が必要なこどもや家庭を早期に把握・支援するため、個人情報などの適正な取扱いを確保しながら、教育・保健・福祉などの情報・データを分野を超えた連携に取り組む
- ・ 公立小学校、中学校等でのスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の配置促進 等

電話・SNS等を活用した相談体制の整備

- ・ 「孤独ダイヤル」（#9999）の試行事業の実施
- ・ LINEやウェブチャット・孤立相談等のSNSを活用した相談体制の強化 等

自殺予防のための対応

- ・ 多職種の専門家で構成される「若者の自殺危機対応チーム」を都道府県等に設置し、自殺未遂歴や自傷行為の経験等がある若者など市町村等では対応が困難な場合に、助言等を行うモデル事業の拡充。その上で、危機対応チームの全国展開を目指す
- ・ 不登校児童生徒への教育機会の確保のための関係機関の連携体制の整備や、不登校特例校の設置促進・充実 等

遺されたこどもへの支援

- ・ 地域における遺児等の支援活動の運営の支援 等

こどもの自殺対策に関する関係省庁の連携及び体制強化等

- ・ こども家庭庁の自殺対策室の体制強化、関係省庁と連携した啓発活動
- ・ 「こども若者★いけんぷらす」によるこどもの意見の公聴、制度や政策への反映（支援につながりやすい周知の方法も含む）
- ・ 関係閣僚によるゲートキーパー研修の受講及び全国の首長に向けた受講呼びかけメッセージの作成 等

改正の趣旨

- 自殺対策基本法が平成18年に施行されて以降、我が国の自殺者の総数は減少傾向にあるが、近年、こどもの自殺者数は増加傾向が続いている。令和6年の児童生徒の自殺者数は、529人で過去最多となった（平成30年以降、約43%増・最も数が少なかった平成5年と比べ約2.7倍）。10代における死亡原因の第1位が「自殺」であるのは、G7で我が国だけである。
- こうした極めて深刻な状況に対処するため、こどもに係る自殺対策を推進するための体制整備・措置について定めるほか、デジタル技術を活用した施策の展開、自殺リスク情報の迅速な把握、自殺を助長する情報・設備等対策、自殺未遂者等・自殺者の親族等への支援の強化について定める。

改正の概要

1. 基本理念の追加（第2条第6項・第7項）

- 自殺対策は、デジタル社会の進展を踏まえ、情報通信技術、人工知能関連技術等の適切な活用を図りながら展開されるようにするとともに、自殺の防止においては、インターネット等を通じて流通する自殺に関連する情報が及ぼす影響に関する適切な配慮のための取組の促進に特に留意する旨を明記
- こどもが自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、その権利利益の擁護が図られ、将来にわたって健康で心豊かな生活を送ることができる社会の実現を目指し、こどもに係る自殺対策を社会全体で取り組むことを明記

2. こどもの自殺の防止等に係る国の責務の改正及び学校の責務の追加

- こどもに係る自殺対策について、内閣総理大臣、文部科学大臣及び厚生労働大臣は、その自殺の実態等を踏まえて適切かつ効果的に策定され、及び実施されるよう、相互に又は関係行政機関の長との間において緊密な連携協力を図りつつ、それぞれの所掌に係る施策を推進することを明記（第3条第2項）
- 学校について、基本理念にのっとり、関係者との連携を図りつつ、こどもの自殺の防止等に取り組むよう努めることを明記（第5条）

3. 基本的施策の拡充

- 自殺防止等の観点から、学校における心の健康の保持のための健康診断等の措置や、精神保健に関する知識の向上について規定（第17条第3項）
- 精神科医等の医療従事者に対する自殺の防止等に関する研修の機会の確保について規定（第18条）
- 自殺発生回避のための適切な対処に必要な情報が関係機関及び関係団体に迅速かつ適切に提供されるための措置について規定（第19条第2項）
- 自殺の助長につながるような情報、物品、設備等について適切な管理、配慮等に関して注意を促すための措置について規定（第19条第3項）
- 自殺未遂者等への継続的な支援を明記（第20条）、自殺者の親族等の支援について、その生活上の不安の緩和とともに、総合的な支援を規定（第21条）

4. 協議会（第4章）

- 地方公共団体は、第19条（自殺発生回避のための体制の整備等）及び第20条（自殺未遂者等の支援）の施策でこどもに係るものを実施するに当たっては、学校、教育委員会、児童相談所、精神保健福祉センター、医療機関、警察署等の関係機関、自殺対策に係る活動を行う民間団体等をもって構成する協議会を置くことができるとし、協議会はこどもの自殺の防止等について情報交換及び必要な対処等の措置の協議を行うこととする旨を規定

5. 状況の変化等を踏まえた検討（附則第2条）

- 自殺に関する状況の変化、自殺対策に係る諸施策の実施の状況等を踏まえ、必要な見直し等の措置が講ぜられるものとする旨を規定

6. こども家庭庁の所掌事務の追加（改正法附則第3項）

- こども家庭庁の所掌事務として、こどもに係る自殺対策を規定

- ✓ こどもの自殺をめぐる深刻な状況に対処するため、こどもの自殺対策緊急強化プラン（令和5年6月）や改正自殺対策基本法（令和7年6月公布）を踏まえ、関係省庁一丸となり、**関連事業・支援策を総合的に推進していく必要**
- ✓ こどもの自殺対策の実施に様々な機関や団体が関わる中で、関係機関や団体の連携・協働により**連動性を持って取り組まれるべき施策を「こどもの自殺対策推進パッケージ」としてとりまとめ**

➡ 地方自治体においては、特に下線部の施策を中心に取り組むことにより、**自殺対策が地域を問わず着実に実行されるよう底上げを図る**

① 教育や普及啓発等

- SOSの出し方に関する教育・自殺予防教育の促進 《文部科学省》
- 地方自治体によるゲートキーパー養成研修の実施支援 【33億円の内数】 《厚生労働省》
- 「心の健康」に関する指導の着実な実施、啓発資料の周知 《文部科学省》
- 改 学校における精神保健に関する知識の向上 《文部科学省》
- 中高生を対象とした自殺対策に関する広報啓発【0.4億円】 《こども家庭庁》

② リスクの早期発見・対応

- 1人1台端末等を活用した「心の健康観察」の推進 《文部科学省》
- スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置充実 【88億円】 《文部科学省》
- 改 学校における心の健康保持のための健康診断等の措置 《文部科学省》
- 改 医療及び学校現場と連携した教職員向けガイドラインの作成及び広報等【0.1億円】 《文部科学省》
- こどもの成長を見守るためのデータ連携基盤構築に向けた調査研究 【0.8億円（R7補正）】 《こども家庭庁》

③ 危機介入

- こども・若者の自殺危機対応チームによる支援者支援の推進 【39億円の内数】 《厚生労働省》
 - 地域ネットワーク構築によるこども支援【7.7億円（R7補正）】 《こども家庭庁》
 - 改 法定協議会（※）の運営に係るガイドラインの作成 《こども家庭庁》
- （※） 令和8年度から地方公共団体は協議会の設置が可能

④ 見守り・支援

- 地域ネットワーク構築によるこども支援【7.7億円（R7補正）】（再掲） 《こども家庭庁》
- 地方自治体及び民間団体によるSNS相談体制の強化、こころの健康相談統一ダイヤルにおけるフリーダイヤルの導入等【33億円の内数】 【21億円の内数（R7補正）】 《厚生労働省》
- 年末年始等における孤独・孤立相談事業【3.9億円の内数（R7補正）】 《内閣府》
- 教育委員会による24時間子供SOSダイヤル、SNS等を活用した相談体制の整備【88億円の内数】《文部科学省》

⑤ 要因分析・関係省庁の連携等

- こどもの自殺の実態解明及び分析に当たっての課題把握【0.2億円】 《こども家庭庁》
- 自殺未遂者支援を含む自殺対策に関する調査研究等の体制強化【6.0億円】《厚生労働省》

- 「児童生徒の自殺が起きたときの背景調査の指針」（令和7年12月改訂）の周知 《文部科学省》

- 自死遺児・遺族支援団体に対する活動支援【33億円の内数】

《厚生労働省》

※ 改 は改正自殺対策基本法を受けて今後実施・検討する事項
※ 【 】は令和8年度予算額及び令和7年度補正予算額

- ・電話やSNSによる相談窓口等の情報をわかりやすくまとめたWebサイト。
- ・ころを落ち着けるためのWebサイトやゲートキーパーに関する情報等も掲載している。
- ・広報ポスター、広報動画、政府広報、X(旧Twitter)、インターネット広告等を通じて広く周知を図っている。

まもろうよ ころ

文字サイズの変更 標準 大 特大 厚生労働省

ホーム 困った時の相談方法・窓口 ころを落ち着けるためのWebサイト 自殺対策の今
ゲートキーパーになろう！ 厚生労働省の取り組み 広げてみよう支え合い

あなたの声を
聴かせてください

もし、あなたが悩みを抱えていたら、相談してみませんか？

電話で話したい SNSで話したい



電話で話したい

- #いのちSOS（特定非営利活動法人 自殺対策支援センター ライフリンク）
- いのちの電話（一般社団法人 日本いのちの電話連盟）
- チャイルドライン（特定非営利活動法人（NPO法人） チャイルドライン支援センター）
- 子どもの人権110番（法務省）
- よりそいホットライン（一般社団法人 社会的包摂サポートセンター）
- ころの健康相談統一ダイヤル
- 24時間子供SOSダイヤル（文部科学省）

SNSで話したい

- 特定非営利活動法人 自殺対策支援センター ライフリンク
- 特定非営利活動法人 あなたのいばしょ
- 特定非営利活動法人 チャイルドライン支援センター
- 特定非営利活動法人 東京メンタルヘルス・スクエア
- 特定非営利活動法人 BONDプロジェクト



<https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/>

詳しくは 検索

1人1台端末等を活用した「心の健康観察」の導入推進

- 不登校やいじめ、児童生徒の自殺が増加する中、児童生徒のメンタルヘルスの悪化や小さなSOS、学級変容などを教職員が察知し、問題が表面化する前から積極的に支援につなげ、未然防止を図ることが必要
- 「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」（令和5年3月）、「こどもの自殺対策緊急強化プラン」（令和5年6月）等を踏まえ、1人1台端末等を活用して、児童生徒の心や体調の変化を把握し、早期発見、早期支援につなげる「心の健康観察」の全国の学校での実施を目指し、引き続き、**通知や各種会議等を通じて、各学校における導入を推進**
- 学校のICT環境整備3か年計画（2025～2027年度）における、1人1台端末を活用した児童生徒の学校生活を支援するツール（例：児童生徒の心や体調の変化を早期に発見し、支援するツール）の整備に必要な経費を踏まえて**地方財政措置**

「心の健康観察」の導入を進めている教育委員会等の声

A教育委員会

- 令和4年4月から域内の全小学校高学年及び中学校で有償アプリを導入
- 市全体での相談件数**は、アプリ導入前は教育委員会宛のメール相談のみ実施しており、年間で50件ほど。**アプリ導入後は約680件に増加し、いじめの認知件数も導入前約20件⇒導入後約110件と増加した。**
- 相談内容はいじめに限らず、自傷行為や自殺念慮に関わるものもある。**児童生徒が抱える悩みなどを早期発見が可能になり、早い段階から寄り添った対応が行えるようになっている。

B教育委員会

- 令和3年4月から、域内の全小中学校でGoogleフォームを活用した「心の健康観察」を実施
- 導入以降**いじめの認知件数が増加**しており、導入前の令和2年度は約40件⇒導入後の**令和3年度は約270件、令和4年度は約420件**となっている。
- 個別事案では、長期休業中に、児童生徒から家庭のことで訴えがあり、即座に児童相談所、警察に連絡し、早期対応につなげた事案があった。
- 児童からは、「今は知っておいてもらうだけでよい」といった相談も多く、児童生徒にとって気軽に相談しやすくカウンセリング効果が高いツールと考えている。

その他教育委員会等から寄せられた声

- これまでは、個々の担任教諭の主観で児童生徒の変化を把握していたが、アプリを活用し、数値で捉えることができるようになったので、**ケース会議や児童生徒理解の材料として活用**できている。
- 導入校では、**不登校の新規発生が前年度の同時期と比較して半数以上減少**している。

「心の健康観察」の導入イメージ（千葉県教育委員会の例）

- 児童生徒へのwebストレスチェックを通じて、心身の状況を把握、担任教諭等にフィードバック
- ストレスチェックの結果は児童生徒や保護者にもフィードバックし、ストレスへの気付きを促す
- 高ストレスの児童生徒を早期発見し、SC・SSW等とも連携しつつ、カウンセリング等を通じて支援
- 必要に応じて、医療機関や児童相談所等の関係機関の支援につなげる

1 最近のあなたの気持ちや体の様子についてうかがいます。下の表文章を読んで、自分の気持ちよくあてはまると思うところの数字1つを○で囲んでください。

	全然あてはまらない	よくあてはまる
1 悲しい気分だ。	0 1 2 3	
2 嬉しくなる。	0 1 2 3	
3 いろいろなことに自信がない。	0 1 2 3	
4 何となく心配だ。	0 1 2 3	

2 あなたは、ここ2か月間のうちに、下に書いてあるようなことが、どのくらいありましたか。下の表文章を読んで自分にもっともよくあてはまると思うところの数字1つを○で囲んでください。

	全然なかった	よくあった
1 自分は書くのに先生に知られる。	0 1 2 3	
2 友だちから暴力をふるわれる。	0 1 2 3	
3 授業の内容がよくわからない。	0 1 2 3	
4 連絡先を変えようと思える。	0 1 2 3	

3 あなたは、まわりの人たちが、ふだんどのくらいあなたの助けになっていると感じていますか。下の表文章について、それぞれの人の気持ちよくあてはまると思うところの数字1つを○で囲んでください。ただし、あてはまる人がいない場合にはその欄は空欄にしてください。

	あなたが思う	先生が思う
1 あなたが元気なら	0 1 2 3	
2 担任の先生の場合	0 1 2 3	
3 友だちの場合	0 1 2 3	

4 あなたが何か気になっている、そっと助けてくれる。

	あなたが思う	先生が思う
1 あなたが元気なら	0 1 2 3	
2 担任の先生の場合	0 1 2 3	
3 友だちの場合	0 1 2 3	

<児童生徒へのストレスチェック（イメージ）>

1人1台端末を活用した 健康観察・教育相談システム一覧

令和8年 2月

初等中等教育局児童生徒課

1人1台端末を活用した心や体調の変化の早期発見を推進



趣旨

- ・ **こどもの自殺対策緊急強化プラン（令和5年6月2日）** 1人1台端末の活用等により、自殺リスクの把握や適切な支援につなげるため、有償・無償で利用できるシステムやその活用方法、マニュアル等を整理・作成し、全国の教育委員会等に周知し、全国の学校での実施を目指す。
- ・ **誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）（令和5年3月31日）** 1人1台端末を活用した心や体調の変化の早期発見を推進とされており、これらを踏まえ、1人1台端末を活用した児童生徒の心や体調の変化の早期発見や適切な支援につなげるためのシステム・マニュアル等について、下記の通り整理した。

無償

会社名	システム名	機能	機能詳細
Google	Google フォーム	・ 健康観察 ・ 相談窓口	・ リンク、QRコード、メールによるフォームの共有 ・ Google スプレッドシート等へのデータのエクスポート ・ Google Apps Script を利用したアラート機能等の実装
Google	Looker Studio 【Google】Looker Studio in a minute -YouTube	・ データの可視化	・ Google スプレッドシート等のデータソースから表やグラフ等を作成し、データを可視化 ・ データの自動更新や様々なフォーマットのグラフにより、多様な角度からの迅速な分析が可能に
Microsoft	Microsoft Forms	・ 健康観察 ・ 相談窓口	・ リンク、QRコード、メールによるフォームの共有 ・ Microsoft Excel へのデータのエクスポート ・ Microsoft Excel のマクロによるアラート機能
Microsoft	Reflect 【Microsoft Teams for Education】Reflect - YouTube	・ 健康観察	・ 文字だけでなくキャラクターを使った選択肢 ・ 健康観察等に特化し、Microsoft Formsをより簡易に利用

1人1台端末を活用した心や体調の変化の早期発見を推進

有償

※使用機能、使用する組織等の規模によって金額は変動する。

会社名	システム名	料金（生徒1人当たり月額） （税込）※	機能	機能詳細（他の機能含む）
一般社団法人 スクールセーフティネット・リサーチセンター 	子ども支援アプリ ぶりんP-Lin https://p-lin.org/	応相談 ※初年度無料	・健康観察 ・相談窓口	・GIGA端末等を利用し毎日チャットボット形式で約3分前後で回答 ・生徒指導提要（改訂版）に基づく児童生徒理解、生徒指導・教育相談に活用可能 ・不登校児童生徒も含めたすべての子どもの成長・発達支援 ・児童生徒が自分の生活を振り返ることができるセルフモニタリング機能 ・「ひと言日記」による児童生徒と教師とのコミュニケーションを促進する機能 ・困ったときには学校内外の教師や相談機関につなげることができる機能（SOSボタン有） ・教師全員で入力結果を確認でき、チーム学校による対応に活用可能
一般社団法人 RAMPS 	RAMPS（ランプス） https://ramps.co.jp	18.3円（年間200円） + 1学校あたり基本料 年間7万円	・健康観察 ・相談窓口	・自殺リスク評価を含む心身不調のスクリーニング指標を中心に構成（国内外研究知見を参考に） ・1次検査は子どもが一人で端末から回答。2次検査では教員が端末の質問文を参考に詳しく問診 ・自殺リスクは4段階評価。「高リスク」判定の場合、予め登録された関係者に即時アラート通知 ・データ分析・可視化・自動リポート作成機能を充実。自殺リスクが高まる時期や学校の個別傾向等をダッシュボードで提示 ・東京大学での研究をもとに開発されたシステム。研究・試行段階含め全国の学校で8年間の教育現場への導入実績
公益社団法人 子どもの発達科学研究所 	こころとからだの連 絡帳 デイケン https://service.kohatsu.org/dayken/	応相談 29.7円～66円 （※人数に応じて変動） 年間契約が基本。年 度途中からの導入は 応相談	・健康観察 ・相談窓口	・毎朝1分程度の簡易な入力で、子どもの心身の状態を把握し、必要な支援に早期対応が可能 ・研究成果をベースに、最適なタイミングで支援アラートを発出できるよう、常にバージョンアップ ・「相談ボタン」で、声に出せない子どもたちのSOSもキャッチアップし、担当、学校へ伝える ・追加料金なしで、子どものメンタル状態を把握する『NiCoLi』、いじめ把握と支援につなげる『いじめDアンケート・いじめ介入支援システム』、学校の雰囲気可視化する『学校風土D調査』も同時に利用可能。多面的なアセスメントを実施

※使用機能、使用する組織等の規模によって金額は変動する。

会社名	システム名	料金（生徒1人当たり月額）（税込）※	機能	機能詳細（他の機能含む）
公益社団法人 子どもの発達科学研究所 	こころの健康観察 NiCoLi（ニコリ） https://service.kohatsu.org/nicoli/	応相談 29.7円～66円 （※人数に応じて変動） 年間契約が基本。年度途中からの導入は応相談	・健康観察 ・相談窓口	・早期兆候を示すメンタルヘルスの不調を科学的根拠を元にスクリーニング ・科学的根拠に基づく質問項目。簡便なシステム。10分～15分程度で回答。児童生徒の負担も少ない ・先生は即時で結果確認可能。回答後すぐに分析結果を知ること、早期介入を実現。深刻化を防止 ・個別のフィードバックシートで、児童生徒が自身の状態を把握したり、保護者との共有も可能 ・結果からの追加アセスメント、フォローアップも用意 ・追加料金なしで、毎日の健康観察『デイケン』、いじめ把握と支援につなげる『いじめDアンケート・いじめ介入支援システム』、学校の雰囲気可視化する『学校風土D調査』も同時に利用可能。特に『デイケン』との連携で、支援ニーズへの早期介入が可能になる。
コニカミノルタ株式会社 	tomoLinks https://tomolinks.konicaminolta.jp/	応相談 ※連絡帳機能、授業支援機能、動画共有機能など有効化する機能によって異なるため	・健康観察 ・相談窓口	以下の「こころの日記」機能によって児童生徒のSOSを出す選択肢を増やし相談のハードル下げること、早期発見と対応が可能になる。 [児童生徒]1日に1回、今日の気分を「とてもうれしい」「うれしい」「ふつう」「かなしい」から選んで登録 [児童生徒]誰にどのような内容で相談するかを選び自身のタイミングで相談希望を送信可能 [教員]学年やクラスでフィルタリングし、「今日の気分」や「相談の有無」の確認が簡便に可能 [教員]「かなしい」気分の登録や相談希望がある時にはアラートが出て見逃し防止 [教員]相談の状態(未確認)を制御できるため見落とし防止
スタンドバイ株式会社 	シャボテンログ https://shabotenlog.jp/	応相談	・健康観察 ・相談窓口（学校内）	・毎日、こころとからだの状態を4段階で記録する「こころとからだの健康観察」機能 ・先生やスクールカウンセラー等周囲の大人へ相談希望を出せる「話したいボタン」機能 ・子どもが、自身の状態をグラフ等で振り返り自己管理力を高める「フィードバック」機能 ・アンケートにより、深刻ないじめ状況にある子どもを先生が把握できる「いじめリスクアセスメント」機能
スタンドバイ株式会社 	STANDBY https://standby-corp.jp/products/	応相談	・相談窓口（学校外）	・いじめ等で悩んでいる時に、一人一台端末やスマートフォンから、自治体や学校が設けた専門の相談員に匿名で報告・相談することができる機能 ・STANDBY導入校へ、脱いじめ傍観者教育授業を実施。授業内でアプリの活用方法を説明する「SOSの出し方教育」も行う

※使用機能、使用する組織等の規模によって金額は変動する。

会社名	システム名	料金（生徒1人当たり月額）（税込）※	機能	機能詳細（他の機能含む）
東京メンタルヘルス株式会社 	スクールコンケア https://t-mental.co.jp/school/concare/school/	応相談 ※プランによる例) 1校当たり月額5,500円～（300名の学校で1人当たり月額18.3円～）	・健康観察 ・相談窓口	・日々の気分を6種類のお天気マークで記録し、気分変動した児童生徒を自動検知して、担任やカウンセラー等に自動メール報告。同時に本人にも相談案内メールが自動送信され相談促進が可能 ・個人、クラス、学年、カレンダー別で閲覧、自分自身の経年データを閲覧、メモ日記、打刻忘れアラート、毎日の打刻時に元気が出るメッセージをランダム表示(ios、android対応)などの機能 ・講師派遣による心の授業、気分の変え方など30種類の教育動画提供可、コンディショニングケアを理解したカウンセラーを定期的に派遣、メール・SNS等によるアウトリーチ声掛けサポートを実施可、PマークとISMS認証を取得。300名以上の心理士や監修医師が所属。
株式会社文溪堂 	ここタン https://ict.bunkei.co.jp/kokotan/	応相談	・健康観察 ・相談窓口	・担任だけでなく学校や組織全体での傾向把握や「今」ケアが必要な子どもを見逃さないシステム ・毎日午前・午後の2回、児童生徒の心や体調の様子や変化を記録することができる心や体調変化の記録機能 ・相談したい悩みなどがある場合、校内全ての先生から子どもたち一人ひとりが「希望する先生」を選んで相談希望を出せる「聞いてほしい」機能 ・各学校の利用状況閲覧などが可能な教育委員会機能
株式会社マモル 	マモレポ https://mamor.jp/mamorepo/	応相談	・健康観察 ・相談窓口	・マモレポポスト:いじめ等の悩みを24時間児童生徒のタイミングでいつでも学校へオンライン投函可能 ・マモレポメッセージ:いじめ等の悩みをいつでもオンライン相談可能。外部相談員（教育委員会やカウンセラー）が数日以内に回答。双方向のやりとりができる機能 ・小学校低学年の児童にもわかりやすいデザイン。相談内容を「仲間外れ」や「言葉の暴力」などイラストで表示 ・自治体ごとの細かいカスタマイズにも対応可能。マモレポのTOPページには教材（読み物）を掲載でき、児童生徒にいじめの定義の理解を促す
株式会社 ミライト・ワン・システムズ 	コンレポ https://www.mirait-one-systems.co.jp/solution/conrepo.html	応相談 例) 20円～100円（年間契約）	・健康観察 ・相談窓口	・オンラインで児童・生徒の健康をサポートし、教員の負担を軽減することを目的に開発された教育現場向けのクラウド型・健康管理サービス。入力状況一覧や月別集計など用途に合わせた多彩な集計機能を搭載 ・生徒がスマートフォンやタブレットなどで簡単なアンケート（体温、目覚め、気分など）に日々回答することで、生徒自身の心身の変化を自覚させることができるほか、学校で適切な支援策を迅速に図ることができるよう、生徒の心身状況を日々把握することが可能

※使用機能、使用する組織等の規模によって金額は変動する。

会社名	システム名	料金（生徒1人当たり月額）（税込）※	機能	機能詳細（他の機能含む）
株式会社リーバー 	LEBER https://leber.jp/documents/leber_system_summery.pdf	22円～	・健康観察 ・相談窓口（プランによる）	・こころの健康観察：毎日の気分チェック/定期のメンタルヘルスチェック/フリーコメント入力/スクールカウンセラー予約希望 ・からだの健康観察：頭痛、腹痛、発熱、夜眠れない等の選択式/フリーコメント入力 ・オンライン医療相談：24時間365日医師が回答/チャットボット問診等で心身の症状を相談 ・出欠席連絡：なりすまし欠席防止機能/部活動外部委託先共有機能/プール・マラソンカード ・メッセージ・アンケート配信：クラス・部活・個別等/既読・未読/リマインド送信/PDF等添付 ・教育委員会専用管理画面：学校・保護者へのメッセージ配信/各学校の情報閲覧・管理
株式会社EDUCOM 	スクールライフノート https://sweb.educom.co.jp/weblog/files/educomhp/doc/713/1486.pdf	応相談 ※校務支援システムとの連携などによって変動するため	・健康観察 ・相談窓口	・日々の心情を4つの天気で記録し、気持ちの自己調整と先生からの適切な早期支援を実現 ・体調や体温、就寝・起床時間など日々の生活リズムに関する情報が登録可能 ・相談したい悩みがある場合、毎日使う画面から簡単に任意の先生を選んで相談内容を送信 ・時間割共有や連絡帳・生活ノートとしての機能も備え、日々の学校生活の中で無理なく活用可能 ・校務支援システムとの連携により、校務ダッシュボードで学級や子どもの状況をより深く分析・共有
株式会社LoiLo 	ロイロノート・スクール https://n.loilo.tv/ja/ https://help.loilonote.app/--5f8567143f41ab0022fa9651	応相談 ※導入初年度無料	・健康観察 ・相談窓口	・出欠席状況、検温記録の提出・確認 ・自由記述による児童生徒からのコメントの送付 ・児童生徒対象のアンケートの実施 ・毎日の振り返りの提出やフィードバックなどが可能
株式会社NTTデータ関西 	こども相談チャットアプリ ぽーち https://www.nttdat Kansai.co.jp/form/porch/	応相談 （年間契約）	・健康観察 ・相談窓口	・GIGA端末やスマホなど様々なモバイル端末で動作することも使いやすいUIのチャットアプリ ・日々のアプリ起動時に気分・体調を5段階で確認し、こども自身の自己認知をすすめる ・こどもの気分・体調の変化からシステムが自動でやさしく声掛け、こどもの自発的な相談を促す ・小学校低学年のこどもでも気軽に利用できるようにイラストを活用した匿名相談が可能 ・匿名相談のため、自治体の職員様だけでなく、第三者機関の専門の相談員様も加えた様々な人員で体制を組み、みんなでこどもを見守り、サポートすることが可能 ・相談の匿名性を維持し、気分・体調は先生が閲覧できる仕組みで、教室声掛けにも活用可能

※使用機能、使用する組織等の規模によって金額は変動する。

会社名	システム名	料金（生徒1人当たり月額）（税込）※	機能	機能詳細（他の機能含む）
株式会社 Welcome to talk 	スクールメンタルヘルスケア https://welcometotalk.co.jp/service_list	220円	・健康観察 ・相談窓口	・ココモニ：1日1回、声を送ってココロの状態をモニタリング。テクノロジー（音声感情センシング）を活用してSOSサインを逃さない。相談希望時のアンケートはWHO-5（精神的健康状態表）を採用 ・テキスト健康相談：“より気軽に手軽に相談したい”に応えるテキストカウンセリング。マイページから何回でも、利用可。24時間いつでも受付。営業日3日以内に心理士回答 ・オンライン健康相談：“もっとじっくり、もっと深く相談したい”に応えるオンラインカウンセリング。相談1回＝45分。選べる専門家（心理士・精神科医・児童精神科医）。両日中に報告書を提出。教員の負担軽減を図りながらきめ細かな支援を実現
コントリ 	こころの学校けんしんくん https://minamiwaki.hosp.go.jp/about/bumon/cnt000016.html	無料	・健康観察 ・相談窓口	・思春期のこころの健診システム。小学5年生から中学3年生までの子供自身が質問紙に回答/体とこころの状態を点数化/健診結果を学校と保護者の方へお知らせ ・子供の困りごとを「からだのつらさ・生活リズム・学校での困りごと・こころのつらさ・おうちの暮らし」に分けて、適切な介入者（医師・専門医・スクールカウンセラー等）を選定 ・医療機関へ受診が必要と判定された子供には、「子どものこころ専門医」が相談窓口になり、学校医・かかりつけ医・専門医など地域の医療機関と相談し、受診先を紹介 ・本システムを利用いただく学校は、システム使用料は無料で、健診所要時間は20分程度

健康観察・教育相談アンケート作成マニュアル

(令和8年2月 一部改訂)

本マニュアルでは、Google フォーム™、Microsoft Forms を用いて、下記の質問項目を設定する方法を解説いたします。

<質問項目>

- 1.日付 2.クラス 3.出席番号 4.名前 5.体調 6.心の状態(心の天気)
7.教育相談の希望 8.相談相手の指定

※Google フォーム イメージ

※Microsoft Forms イメージ

健康観察・教育相談アンケート作成マニュアル

<留意事項>

- ・児童生徒の回答を他の児童生徒が見たり、他の児童生徒に成りすまして回答したりすることがないように、また集計結果を児童生徒が見ることができる状態とならないようにするなど個人情報管理には十分留意してください。
- ・フォームの編集権限、回答データならびに回答が集計されたスプレッドシート、Excel ファイルの閲覧権限については、必要なユーザのみに限定してアクセス権を付与することが重要です。本来編集・閲覧権限を持たないユーザに権限付与されることがないように十分留意してください。
- ・このマニュアルにおける質問項目は例示であり、各学校が健康観察・教育相談を行うにあたり、使いやすいよう、必要に応じ質問項目・表現を加除修正するなど工夫の上活用してください。
- ・当該マニュアルで示した質問項目で児童生徒の健康観察を行うにあたり、参考として Microsoft Excel のマクロコード及び Google Apps Script を作成した※ので、活用してください。
なお、当該 Microsoft Excel のマクロコード及び Google Apps Script は毎日フォームを入力すると仮定して作成しています。
- ・Google フォーム、Microsoft Forms の回答を集計するスプレッドシート、Excel ファイルの扱えるデータ数には上限があります。生徒数や集計日数を考慮して、データ数が大量になる場合には、必要に応じて月単位、学年やクラス単位等でアンケートを分けるなどの対応を行いましょう。

※起動方法や表示されるアラートは、[9p](#)以降と[19p](#)以降を参照してください。

※各学校の環境によっては、本資料の記載通りの運用ができない場合もございます。本資料はあくまで参考としてご覧いただき、本資料に基づくアンケートの作成やマクロコード等、システム作成やエラー等に関する文部科学省並びに各事業者へのご質問についてはお控えください。なお、運用等にあたっては、各学校において連携しているICT支援員等とよく相談して行ってください。

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う

Google フォームで Web アンケートを作成・共有することで、健康観察や教育相談をすることができます。

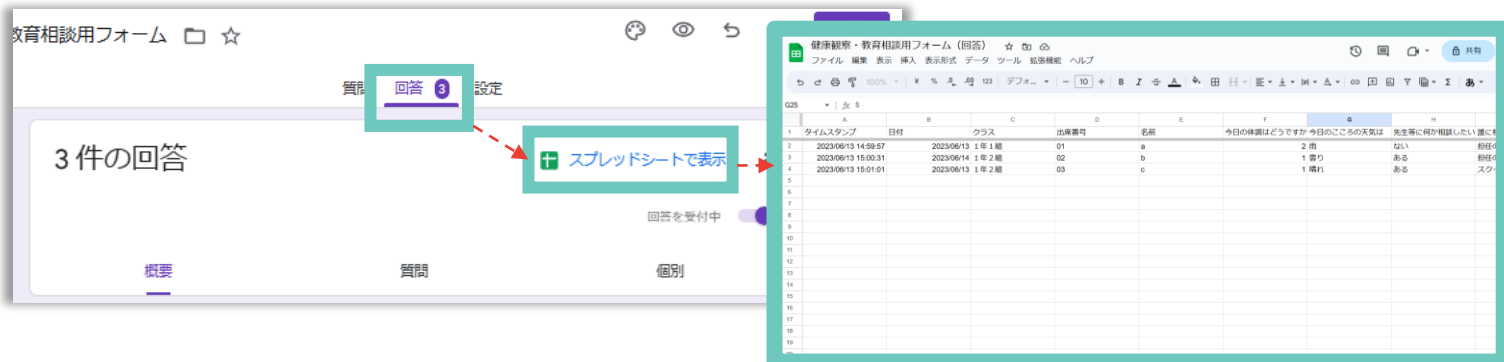
設定の流れ



インターネットで「Google ドライブ」と検索してログインしたあと、「+新規」→「Google フォーム」をクリックする



フォームを作成・共有し、回答を収集する（次頁以降参照）



収集した回答をフォーム上、または Google スプレッドシート™ で確認する（次頁以降参照）

[Google スプレッドシート](#)

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Google フォーム

Google フォーム による、アンケート作成方法を説明します。

設定方法

日付を選択してもらう

- ① タイトル … 「日付」と入力する
- ② フォームの形式 … 「日付」をクリックする
- ③ 必須チェック … チェックする

クラスを選択してもらう

- ① 質問の追加 … 編集集中の質問の横に表示されるツールバーの「+」をクリックする
- ② タイトル … 「クラス」と入力する
- ③ フォームの形式 … 「ラジオボタン」をクリックする
※クラス数が多い場合は、「プルダウン」をクリックし作成する
- ④ 選択肢の入力 … クラスを入力する
- ⑤ 必須チェック … チェックする

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Google フォーム

Google フォーム による、アンケート作成方法を説明します。

設定方法

出席番号を入力してもらう

- ① 質問の追加 …編集中の質問の横に表示されるツールバーの「+」をクリックする
- ② タイトル …「出席番号」と入力する
- ③ フォームの形式 …「記述式」をクリックする
- ④ 説明の入力 …「:」→「説明」をクリックし、「半角数字で記入してください」と入力する
- ⑤ 回答の検証 …「:」→「回答の検証」をクリックし、「数値」「整数」をクリックする。「回答の検証」を設定し、整数のみに入力を制限することで、出席番号の欄に誤って名前や全角数字が入力されるといったことを防ぐことができる。
- ⑥ 必須チェック … チェックする

名前を入力してもらう

- ① 質問の追加 …編集中の質問の横に表示されるツールバーの「+」をクリックする
- ② タイトル …「名前」と入力する
- ③ 説明の入力 …「:」→「説明」をクリックし、「姓と名の間にスペースは不要です。」と入力する
- ④ 回答の検証…「:」→「回答の検証」をクリックし、「正規表現」「含まない」とプルダウンで選択した後、「¥s」又は「\s」※と入力し、「姓と名の間にスペースは不要です。」と入力する
- ⑤ 必須チェック … チェックする

※半角の円マーク「¥」と半角のバックスラッシュ「\」はパソコン内で全く同じものとして扱われるため、どちらで入力いただいても問題ありません。

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Google フォーム

Google フォーム による、アンケート作成方法を説明します。

設定方法

体調を入力してもらう

- ① 質問の追加 …編集集中の質問の横に表示されるツールバーの「+」をクリックする
- ② タイトル …「今日の体調はどうですか」と入力する
- ③ フォームの形式形式 …「均等目盛」をクリックする
- ④ 評価の段階 … 評価の段階を「1～5」に設定する
- ⑤ 最左と最右の表示 …「悪い」「良い」と入力する
- ⑥ 必須チェック … チェックする

今日の体調はどうですか

均等目盛

1 ~ 5

1 悪い
5 良い

必須

心の天気を入力してもらう

- ① 質問の追加 …編集集中の質問の横に表示されるツールバーの「+」をクリックする
- ② タイトル …「今日の心の天気は」と入力する
- ③ フォームの形式形式 …「ラジオボタン」をクリックする
- ④ 選択肢 … 選択肢を「晴れ」「曇り」「雨」「雷」に設定する
- ⑤ 必須チェック … チェックする

今日の心の天気は

ラジオボタン

晴れ
曇り
雨
雷

必須

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Google フォーム

Google フォーム による、アンケート作成方法を説明します。

設定方法

児童生徒に相談したいことがあるか聞く

- ① 質問の追加 …編集集中の質問の横に表示されるツールバーの「+」をクリックする
- ② タイトル …「先生等に何か相談したいことはありますか。」と入力する
- ③ フォームの形式 …「ラジオボタン」をクリックする
- ④ 選択肢 …「ある」「ない」と入力する
- ⑤ 必須チェック … チェックする

先生等に何か相談したいことはありますか

ラジオボタン

ある

ない

必須

誰に相談したいか選択してもらう

- ① 質問の追加 …編集集中の質問の横に表示されるツールバーの「+」をクリックする
- ② タイトル …「ある場合は、誰に相談したいですか。」と入力する
- ③ フォームの形式 …「ラジオボタン」をクリックする
- ④ 選択肢 …「担任の先生」「養護教諭」「スクールカウンセラー」「その他の教職員」と入力し、青字の「その他」を追加をクリック

誰に相談したいですか

ラジオボタン

担任の先生

養護教諭

スクールカウンセラー

その他の教職員

選択肢を追加 または 「その他」を追加

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Google フォーム

前頁で作成したアンケートを回答者に共有する方法を説明します。

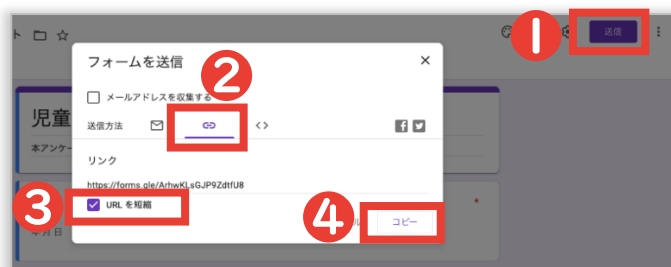
設定方法



Google フォームから直接メールで共有する方法

- ① 送信画面の表示 … 「送信」をクリックする
- ② 送信先の入力 … 作成したフォームを送信したいメールアドレスをすべて入力する
- ③ 件名の入力 … 件名を入力する
- ④ メッセージの入力 … メッセージを入力する
- ⑤ 送信 … 「送信」をクリックする

メールを受信する側のイメージ



リンクをコピーして共有する方法

- ① 送信画面の表示 … 「送信」をクリックする
- ② リンクが表示 … リンクのアイコンをクリックする
- ③ URL の短縮 … URL を短くすることができる
- ④ コピー … URL をコピーすることができる



自治体が発行したアドレスにログインしなくても回答できるようにする方法

- ① 設定の表示 … 作成したフォームの「設定」をクリックする
- ② 限定の解除 … 「(組織名)と信頼できる組織のユーザーに限定する」のチェックを外す

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Google フォーム



Google スプレッドシート

収集した回答を確認する方法を説明します。

設定方法

回答を確認する場合

- ① 回答の表示 … 作成したフォームの「回答」をクリックする
- ② 概要の確認 … 入力状況などを確認できる
- ③ 個別の回答の確認 … 「個別」をクリックすると、個別の回答を確認できる
- ④ 回答の確認 … 回答をGoogle スプレッドシートで表示することができる

タイムスタンプ	日付	クラス	出席番号	授業を受けていて楽しい	授業の満足度	学校生活について
2021/02/25 8:55:03	2021/02/25	1年1組		12	数字、理科、保健体育	3 どちらかとい
2021/02/25 8:55:56	2021/02/25	2年1組		15	国語、数学	2 どちらかとい

タイムスタンプ	名前	クラス	欠席 or 遅刻	遅刻の場合、登校予定時間	欠席 or 遅刻理由	パスワード
2020/10/18 15:02:15	テスト	2年1組	欠席			
2020/10/18 15:03:25	テスト	1年1組	遅刻	10:00-09	通院のため	

日付・クラス別に入力状況を確認する場合

- ① フィルタの作成 … フィルタの記号の右にある「」をクリックし、「新しいフィルタ表示を作成」をクリックする
- ② 表示データの選択 … 日付やクラスなどの表示を制限したい列の3本線の記号をクリックしたあと、表示したいデータのみチェックし、「OK」をクリックする

タイムスタンプ	日付	クラス	出席番号	名前	今日の授業はどうか	今日のこの授業は
2023/06/13 14:58:57	2023/06/13	1年1組	01	B	2 悪	ない
2023/06/14 15:00:31	2023/06/14	1年2組	02	B	1 悪	ある
2023/06/13 15:01:01	2023/06/13	1年2組	03	C	1 悪	ある

タイムスタンプ	名前	欠席 or 遅刻	遅刻の場合、登校予定時間	欠席 or 遅刻理由	パスワード
2020/12/18 15:02:15	A→Zで並び替え	欠席			
2020/12/18 15:03:25	Z→Aで並び替え	遅刻	10:00-09	通院のため	

GAS (Google Apps Script) 起動方法について

Google フォームで作成したGoogle スプレッドシートで、Google Apps Script を起動させる方法を解説します。

(1).スプレッドシートを表示する。

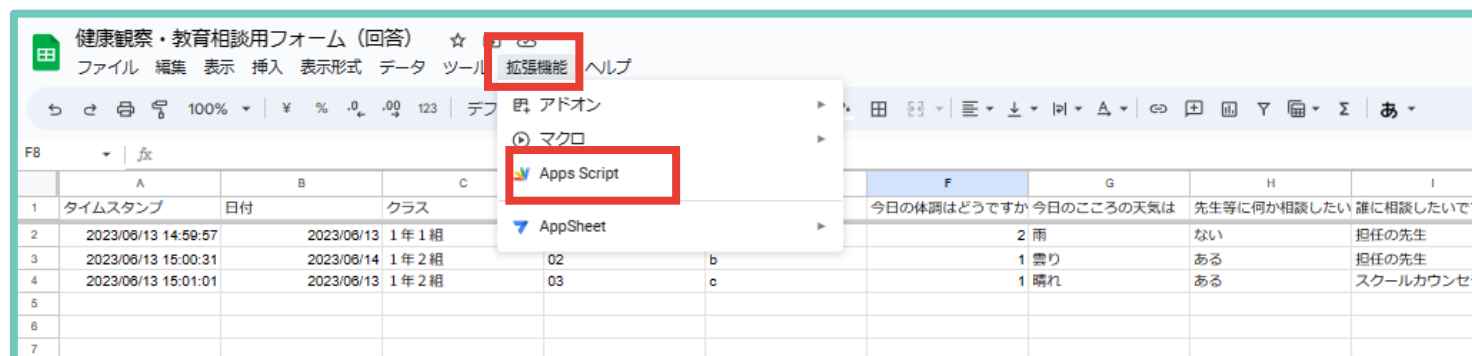
[Google フォームで作成したスプレッドシートを開く]



(2) Google Apps Script を入力する場所を表示する。

[ツールバーの拡張機能]⇒[App Script]

※ Google スプレッドシートのバージョンが古い場合は、「拡張機能の項目が存在しないため、ツールバーの「ツール」⇒「スクリプトエディタ」を選択すると、App Script を開くことができます。

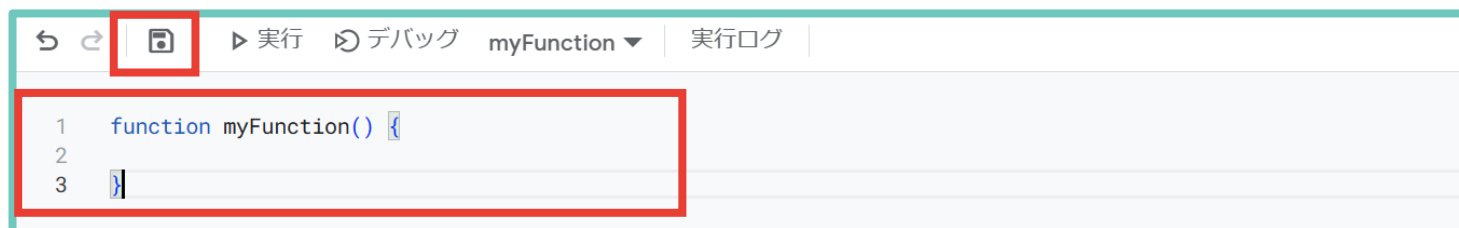


GAS (Google Apps Script) 起動方法について

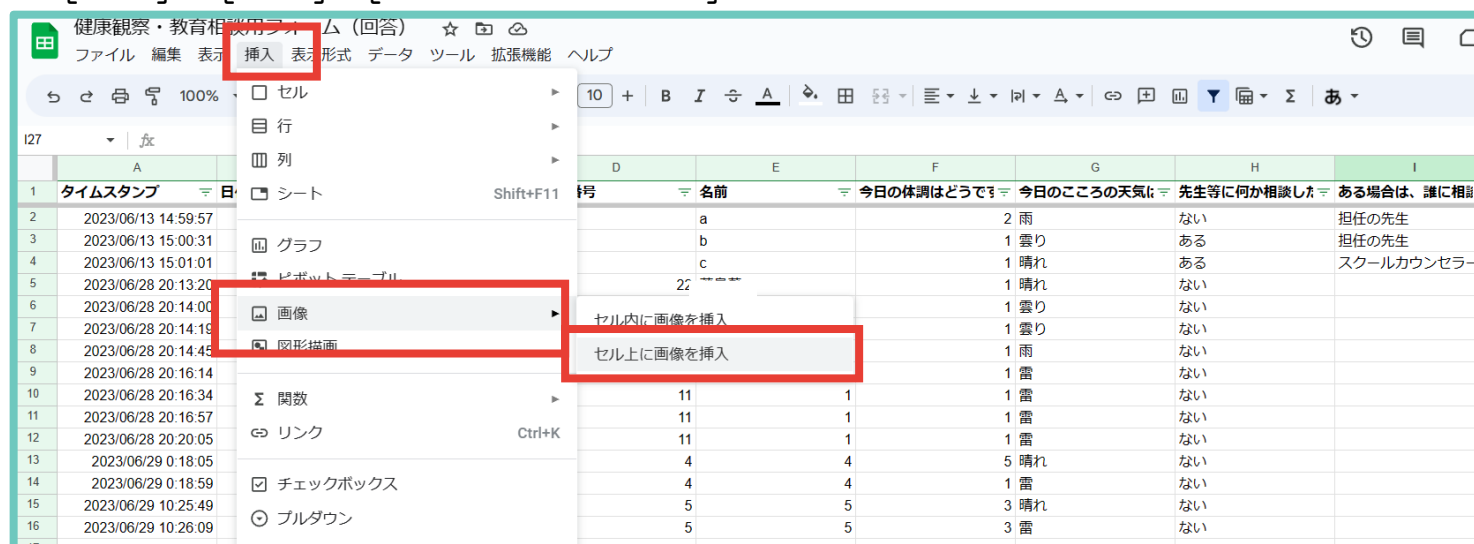
Google フォームで作成したGoogle スプレッドシートで、Google Apps Script を起動させる方法を解説します。

(4) Google Apps Script を入力し、実行する

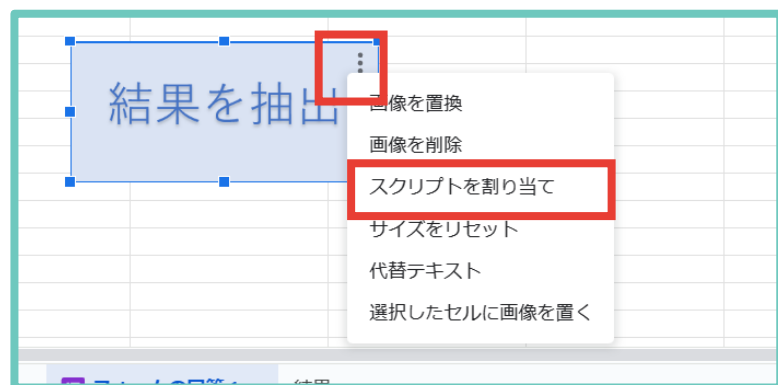
[元々入力されている文字列を削除] ⇒ [1行目に別添のGASを貼り付ける] ⇒ [保存]



[挿入] ⇒ [画像] ⇒ [セル上に画像を挿入] (適当な画像を選択して、挿入してください)



[挿入した画像の上で右クリック] ⇒ [「:」をクリック] ⇒ [スクリプトを割り当て]
⇒ [「performInspection」と入力] ⇒ [確定] ⇒ [画像をクリックする]



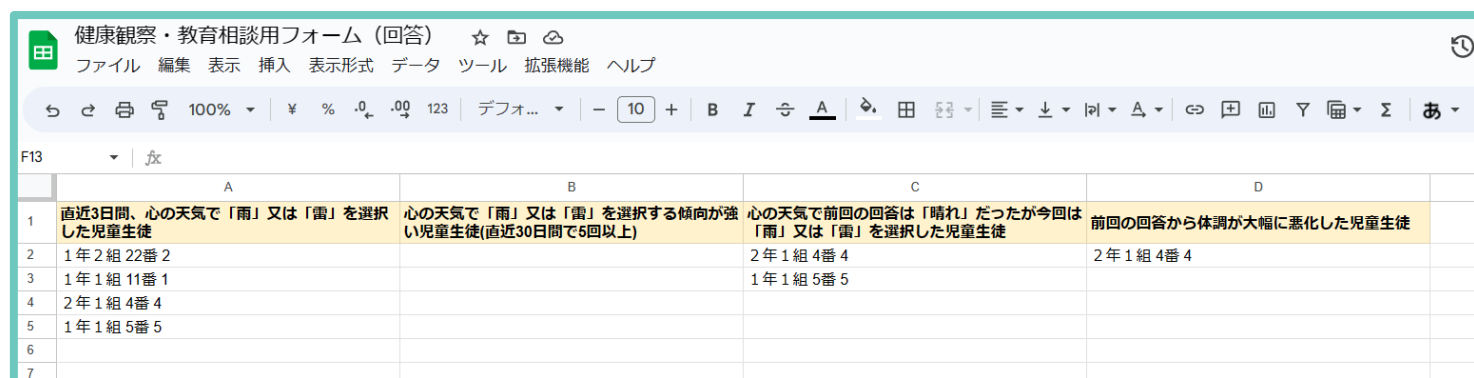
GAS (Google Apps Script) 起動方法について

Google フォームで作成したGoogle スプレッドシートで、Google Apps Script を起動させる方法を解説します。

(5) 結果を確認する

Google Apps Script が正常に起動されていれば、「結果」というシートが新たに作られ、

- ・直近3日間連続、心の天気で「雨」又は「雷」を選択した児童生徒
 - ・心の天気で「雨」又は「雷」を選択する傾向が強い児童生徒(直近30日間で5回以上)
 - ・心の天気で前回の回答は「晴れ」だったが今回は「雨」又は「雷」を選択した児童生徒
 - ・前回の回答から体調が大幅に悪化した児童生徒(良い⇒悪い)
- が抽出して表示されます。



	A	B	C	D
1	直近3日間、心の天気で「雨」又は「雷」を選択した児童生徒	心の天気で「雨」又は「雷」を選択する傾向が強い児童生徒(直近30日間で5回以上)	心の天気で前回の回答は「晴れ」だったが今回は「雨」又は「雷」を選択した児童生徒	前回の回答から体調が大幅に悪化した児童生徒
2	1年2組 22番 2		2年1組 4番 4	2年1組 4番 4
3	1年1組 11番 1		1年1組 5番 5	
4	2年1組 4番 4			
5	1年1組 5番 5			
6				
7				

(6) 結果について

- ・あくまで声掛けの参考にするために使用してください。
- ・同一の日付に複数のデータを入力した場合、結果がうまく反映されない場合があります。

留意事項

- ・スプレッドシートを編集すると Google Apps Script がうまく起動しないため、編集はしないでください。

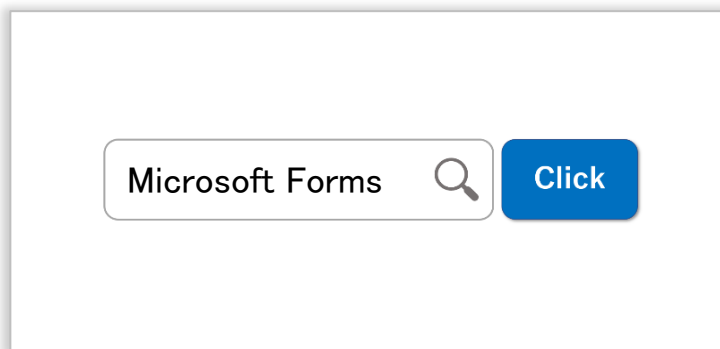
(行・列の追加・削除やデータの書き換え等)

- ・質問の追加や削除を行った場合、と Google Apps Script を書き換える必要があります。適宜ご対応いただき、コードの書き換えに関するお問い合わせはご遠慮ください。
- ・本資料1pの留意事項にもよく目を通してご活用ください。

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う

Microsoft Forms でWebアンケートを作成・共有することで、健康観察や教育相談をすることができます。

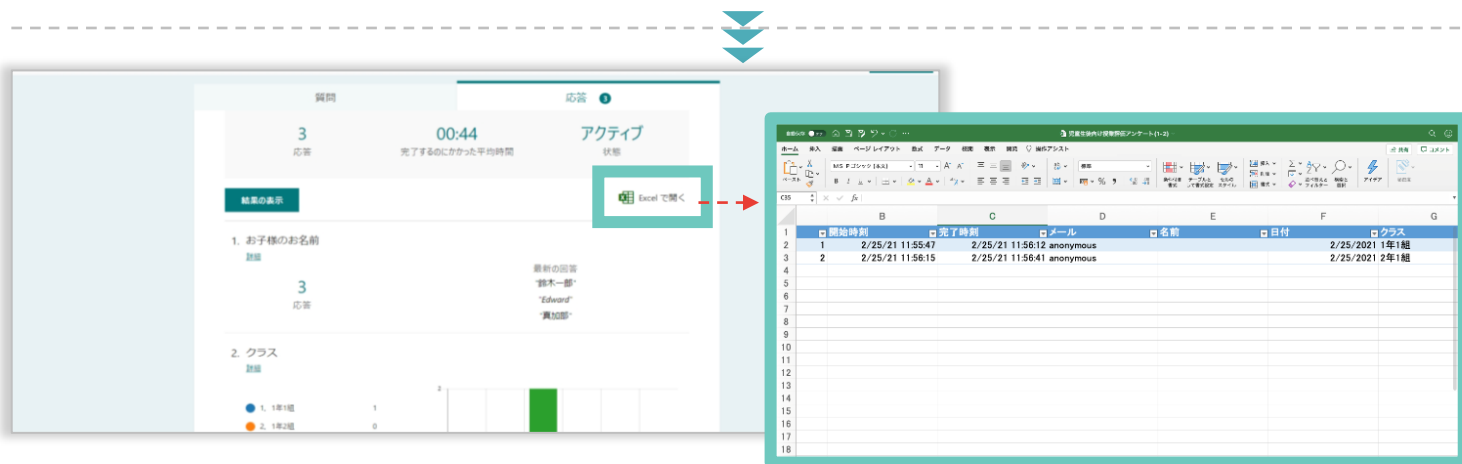
設定の流れ



インターネットで「Microsoft Forms」と検索してログインしたあと、「+新しいフォーム」をクリックする



フォームを作成・共有し、回答を収集する(次頁以降参照)



収集した回答をフォーム上、または Microsoft Excel で確認する
(次頁以降参照)



児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う

Microsoft Forms

Microsoft Forms による、アンケート作成方法を紹介します。

設定方法

1. 日付を選択してもらう

- ① フォームの形式 … 「+新規追加」→「日付」をクリックする
- ② タイトル … 「日付」と入力する
- ③ 必須チェック … チェックする

健康観察用フォーム

今の体調等を正直に回答してください。

1. 日付 *

日付を入力してください(yyyy/MM/dd)

2. クラス *

- ☐ 1年1組
- ☐ 1年2組
- ☐ 2年1組
- ☐ 2年2組
- ☐ 3年1組
- ☐ 3年2組

3. 出席番号 *

半角数字で記入してください。

例は数値にする必要があります

4. 名前 *

姓と名の間にスペースは不要です。

回答を入力してください

5. 今日の体調はどうですか *

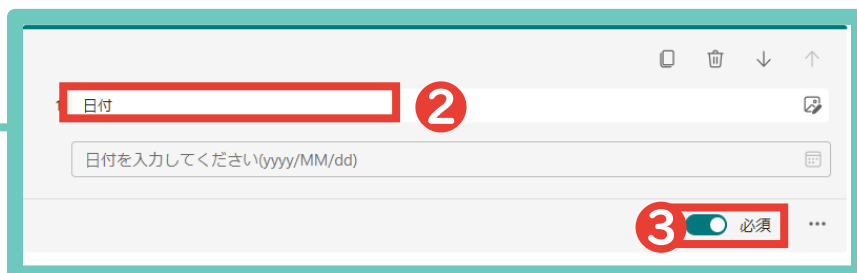
悪い ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ 良い

6. 今日のここらの天気は *

直感的に回答してください。

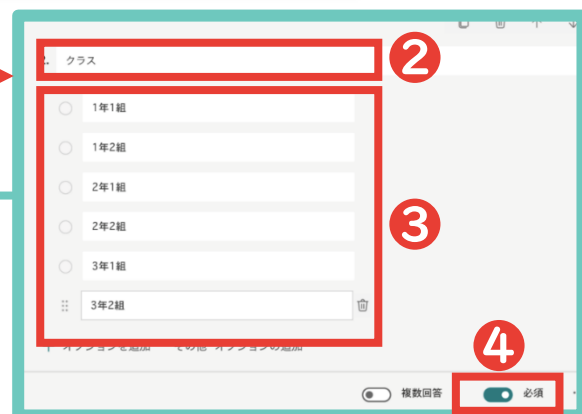
- ☐ 晴れ
- ☐ 曇り
- ☐ 雨
- ☐ 雪

7. 先生に何か相談したいことはありますか。 *



2. クラスを選択してもらう

- ① フォームの形式 … 「+新規追加」→「選択肢」をクリックする
- ② タイトル … 「クラス」と入力する
- ③ 選択肢の入力 … クラスを入力する
- ④ 必須チェック … チェックする



児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う

Microsoft Forms

Microsoft Forms による、アンケート作成方法を紹介します。

設定方法

3. 出席番号を入力してもらう

- ① フォームの形式 … 「+新規追加」→「テキスト」をクリックする
- ② タイトル … 「出席番号」と入力する
- ③ 説明の入力 … 「…」→「サブタイトル」をクリックし、「半角数字で記入してください。」と入力する
- ④ 回答の制限 … 「…」→「制限」をクリックし、「数値」をクリックする
- ⑤ 必須チェック … チェックする

健康観察用フォーム

今の体調等を正直に回答してください。

1. 日付 *

日付を入力してください (yyyy/MM/dd)

2. クラス *

- ☐ 1年1組
☐ 1年2組
☐ 2年1組
☐ 2年2組
☐ 3年1組
☐ 3年2組

3. 出席番号 *

半角数字で記入してください。

値は数値にする必要があります

4. 名前 *

姓と名の間にスペースは不要です。

回答を入力してください

5. 今日の体調はどうですか *

悪い ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ 良い

6. 今日のここらの天気は *

直感的に回答してください。

- ☐ 晴れ
☐ 曇り
☐ 雨
☐ 雪

7. 先生に何か相談したいことはありますか。 *

1. + 新規追加

2. テキスト

3. 出席番号

4. 制限 数値

5. 必須

4. 名前を入力してもらう

- ① フォームの形式 … 「+新規追加」→「テキスト」をクリックする
- ② タイトル … 「名前」と入力する
- ③ 説明の入力 … 「…」→「サブタイトル」をクリックし、「姓と名の間にスペースは不要です。」と入力する
- ④ 必須チェック … チェックする

1. + 新規追加

2. テキスト

3. 4. 名前

4. 必須

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Microsoft Forms

Microsoft Forms による、アンケート作成方法を紹介します。

健康観察用フォーム

今の体調等を正直に回答してください。

1. 日付 *

日付を入力してください(yyyy/MM/dd)

2. クラス *

- ☐ 1年1組
- ☐ 1年2組
- ☐ 2年1組
- ☐ 2年2組
- ☐ 3年1組
- ☐ 3年2組

3. 出席番号 *

半角数字で記入してください。

例は数字にする必要があります

4. 名前 *

姓と名の間にスペースは不要です。

回答を入力してください

5. 今日の体調はどうですか *

悪い ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ 良い

6. 今日のこころの天気は *

直感的に回答してください。

- ☐ 晴れ
- ☐ 曇り
- ☐ 雨
- ☐ 雷

7. 先生に何か相談したいことはありますか。 *

設定方法

5. 体調を入力してもらう

- ① フォームの形式 … 「+新規追加」→「評価」をクリックする
- ② タイトル … 「今日の体調はどうですか」と入力する
- ③ 評価の段階 … 評価の段階を「5」に設定する
- ④ シンボルの選択 … 「星」と「数値」のどちらかをクリックする
- ⑤ 最左と最右の表示 … 「悪い」「良い」と入力する
- ⑥ 必須チェック … チェックする



6. 心の天気を入力してもらう

- ① フォームの形式 … 「+新規追加」→「選択肢」をクリックする
- ② タイトル … 「今日の心の天気は」と入力する
- ③ 選択肢 … 選択肢を「晴れ」「曇り」「雨」「雷」に設定する
- ④ 必須チェック … チェックする



児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う

Microsoft Forms

Microsoft Forms による、アンケート作成方法を紹介します。

設定方法

7. 児童生徒に相談したいことがあるか聞く

- ① フォームの形式 … 「+新規追加」→「選択肢」をクリックする
- ② タイトル … 「先生等に何か相談したいことはありますか」と入力する
- ③ 選択肢 … 「ある」「ない」と入力する
- ④ 必須チェック … チェックする



8. 誰に相談をしたいか選択してもらう

- ① フォームの形式 … 「+新規追加」→「選択肢」をクリックする
- ② タイトル … 「誰に相談したいですか」と入力する
- ③ 選択肢 … 選択肢を「担任の先生」「養護教諭」「スクールカウンセラー」「その他の教職員」と入力する
- ④ 説明の入力 … 「…」→「サブタイトル」をクリックし、「相談がないときは回答不要です。」と入力する
- ⑤ 必須チェック … チェックが残っている場合は外す



児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う

Microsoft Forms

前頁で作成したアンケートを回答者に共有する方法を説明します。

設定方法

Microsoft Forms から直接メールで共有する



- 1 共有画面の表示 … 「回答を収集」をクリックする
- 2 メールの作成 … 人型のアイコンをクリックする
- 3 宛先の入力 … フォームを送信したいメールアドレスをすべて入力
- 4 送信 … メールを送信する



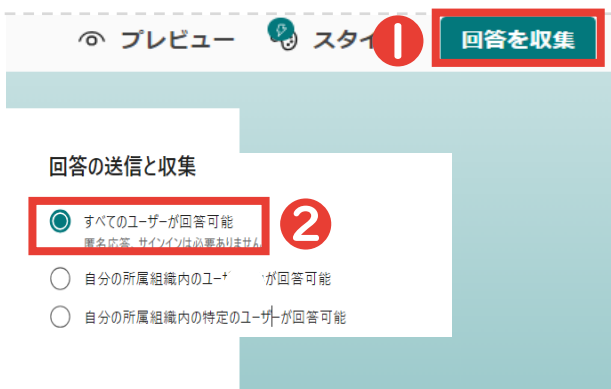
リンクをコピーして共有する方法

- 1 共有画面の表示 … 「回答を収集」をクリックする
- 2 リンクの表示 … リンクのアイコンをクリックする
- 3 コピー … 「コピー」をクリックしたあと、適宜ペーストして活用する



QR コードをダウンロードして共有する方法

- 1 送信画面の表示 … 「回答を収集」をクリックする
- 2 QR コードの表示 … リンクのアイコンをクリックする
- 3 ダウンロード … 「ダウンロード」をクリックする



※自治体が発行したアドレスにログインしなくても回答できるようにする方法

- 1 送信画面の表示 … 「回答を収集」をクリックする
- 2 回答可能者の範囲 … 「○」→「すべてのユーザーが返信可能」を選択する

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Microsoft Forms



Microsoft Excel

収集した回答を確認する方法を説明します。

設定方法

回答を確認する場合

- ① 「応答」の表示 … 作成したフォームの「応答」をクリックする
- ② 概要の確認 … 入力数、入力状況などの状況が確認できる
- ③ 個別の回答の確認 … 「結果の表示」をクリックすると、個別の回答を確認できる
- ④ 回答の確認 … 回答を Microsoft Excel で確認できる

ID	開始時刻	完了時刻	メール	名前	クラス	欠席or遅刻	遅刻の場合、登校予定	欠席or遅刻理由
1	2/21/21 12:19:07	2/21/21 12:19:26	anonymous	テスト 太郎	1年1組	欠席		出席記録のため
2	2/21/21 12:19:44	2/21/21 12:20:45	anonymous	テスト 次郎	2年1組	遅刻	10時	
3	2/21/21 12:20:49	2/21/21 12:21:04	anonymous	テスト 三郎	3年1組	欠席		通病

日付・クラス別に入力状況を確認する場合

- ① フィルタの表示 … 日付やクラスなどの表示を制限したい列の「▼」をクリックしたあと、表示したいデータのみをチェックする

ID	開始時刻	完了時刻	メール	名前	クラス	欠席or遅刻	遅刻の場合、登校予定	欠席or遅刻理由
1	2/21/21 12:19:07	2/21/21 12:19:26	anonymous	テスト 太郎	1年1組	欠席		出席記録のため

並び替え

2+昇順 2+降順

色別: なし

フィルター

色別: なし

指定の値に等しい 1年1組

および または

1つ選択してください

(すべて選択)

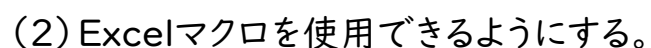
☒ 1年1組

☐ 2年1組

☐ 3年1組

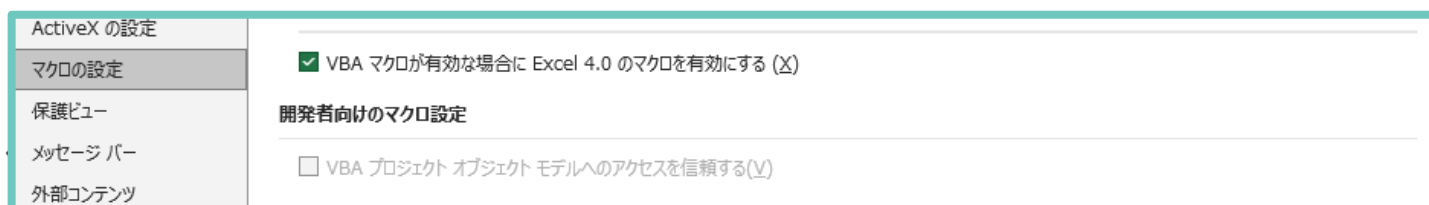
Microsoft Formsで作成した回答Excelで、マクロを起動させる方法を解説します。

[Microsoft Formsで作成したExcelファイルを開く]⇒[ファイル]⇒[エクスポート]
⇒[ファイルの種類の変更]⇒[マクロ有効ブック(*.xlsm)を選択]⇒[名前を付けて保存]



[ファイル]⇒[オプション]⇒[セキュリティーセンター]あるいは[トラストセンター] ⇒[マクロの設定]

※Excelのバージョン等によって設定方法は異なります。

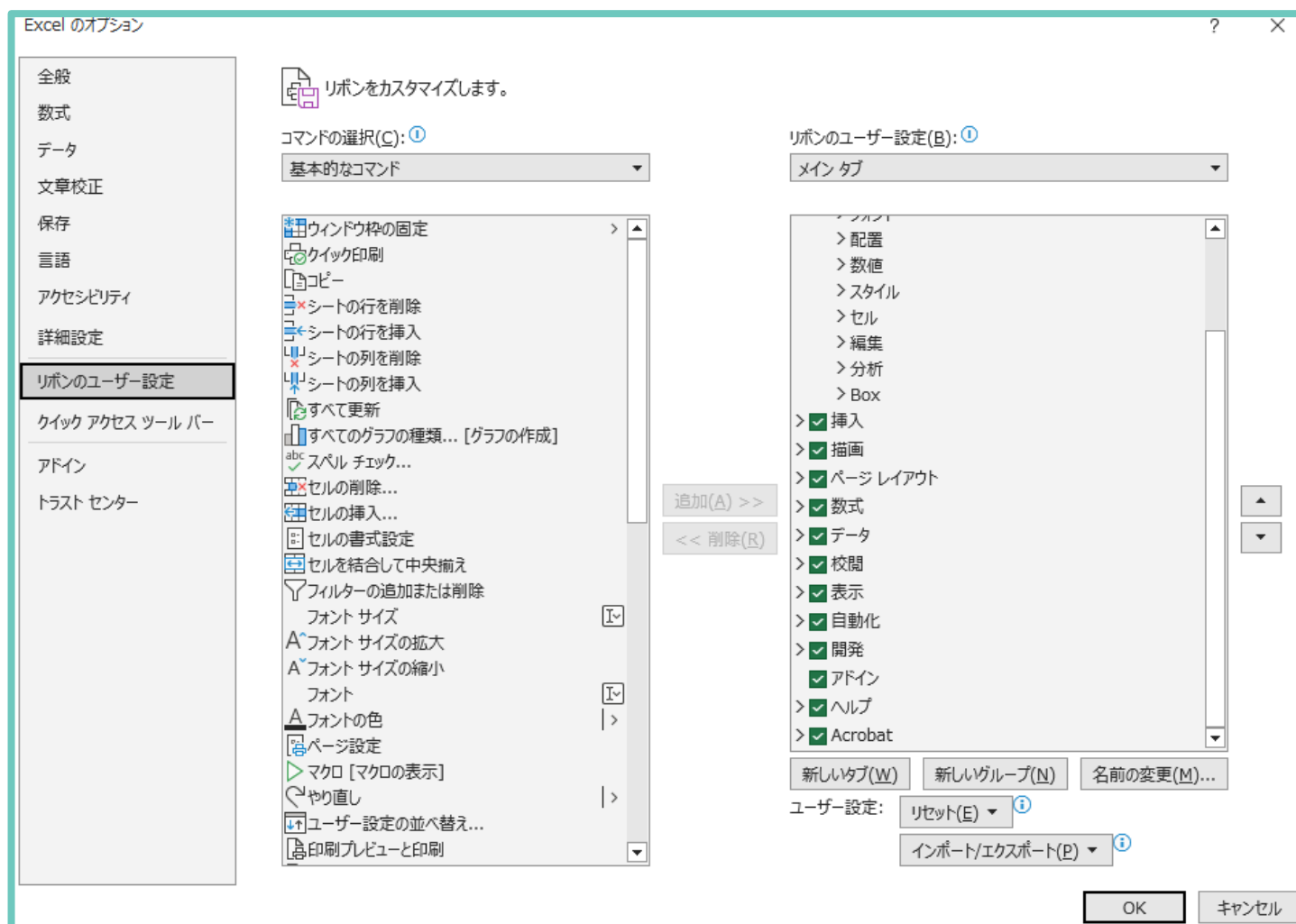


マクロ起動方法について

Microsoft Formsで作成した回答Excelで、マクロを起動させる方法を解説します。

(3) 開発タブを表示させる。

[ファイル]⇒[オプション]⇒[リボンのユーザー設定]⇒[開発にチェック]⇒[OK]

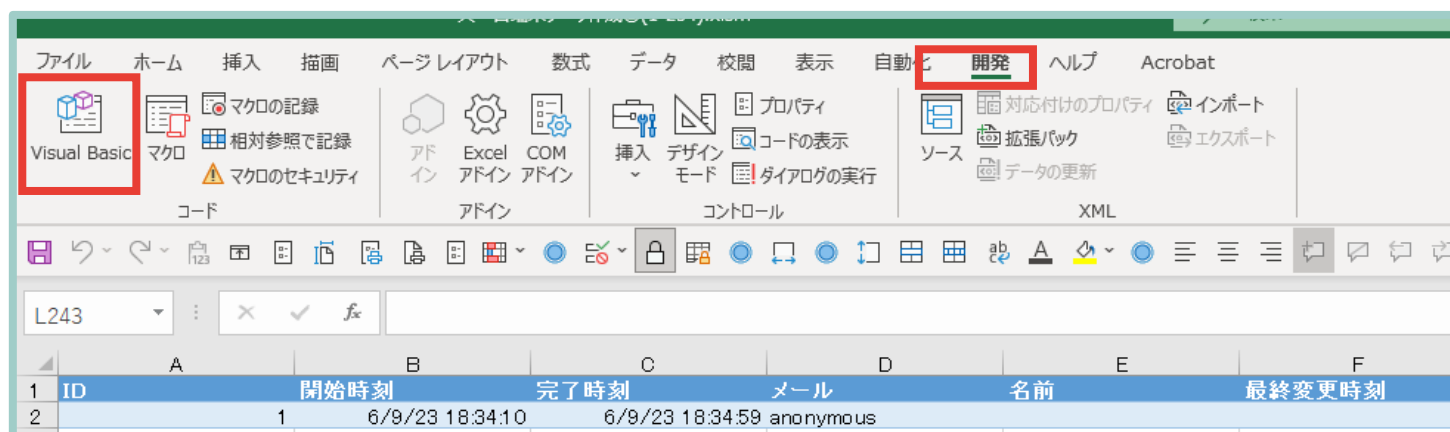


マクロ起動方法について

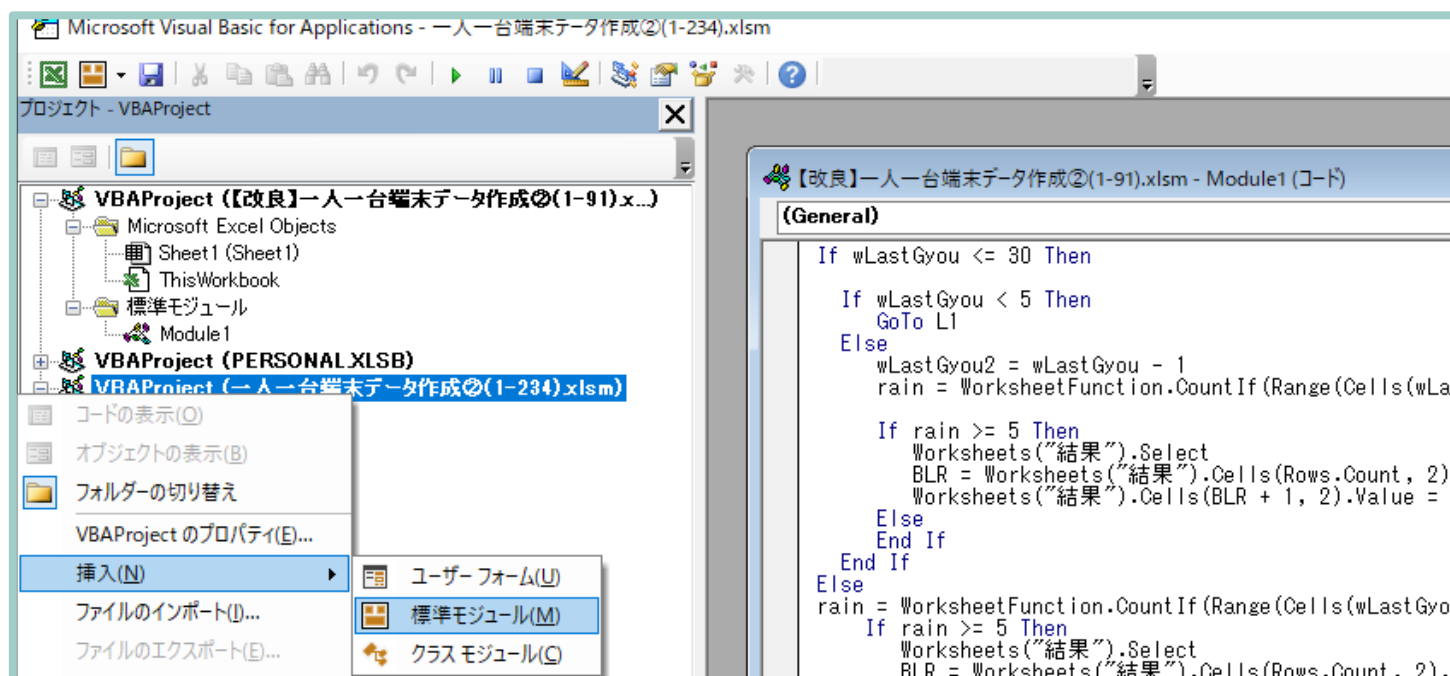
Microsoft Formsで作成した回答Excelで、マクロを起動させる方法を解説します。

(4) マクロを入力する

[開発]⇒[Visual Basic]



[使用しているExcelファイル名を右クリック]⇒[挿入]⇒[標準モジュール]

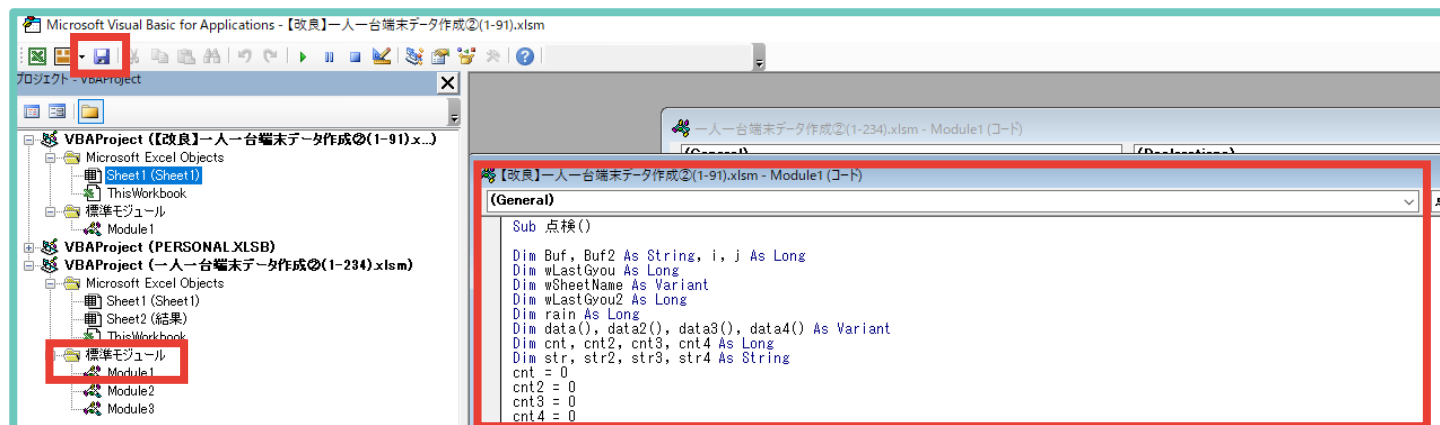


マクロ起動方法について

Microsoft Formsで作成した回答Excelで、マクロを起動させる方法を解説します。

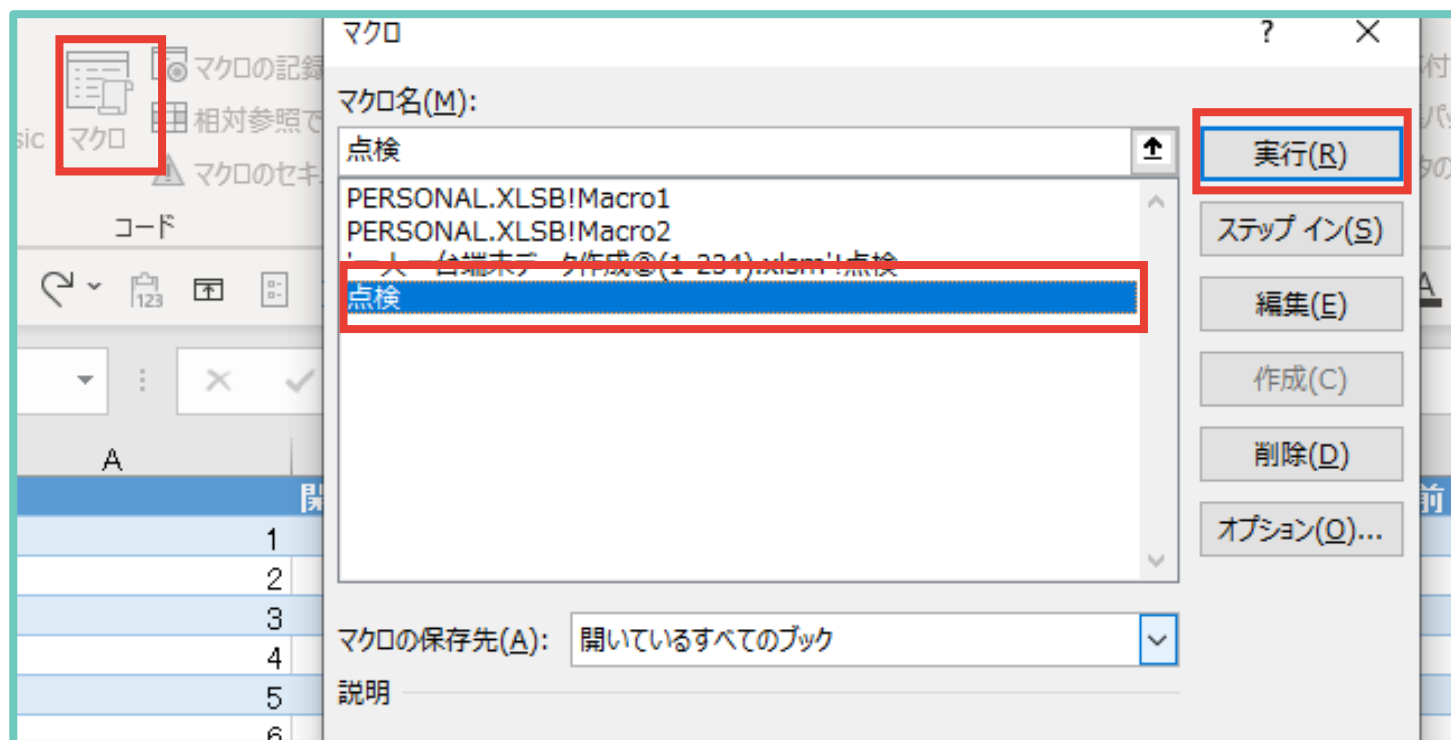
(4) マクロを入力する

[Module 1をダブルクリック]⇒[表示されるウインドウに別添のマクロを貼りつけ]⇒[保存]



(5) マクロを起動する

[開発]⇒[マクロ]⇒[点検]⇒[実行]



マクロ起動方法について

Microsoft Formsで作成した回答Excelで、マクロを起動させる方法を解説します。

(6) 結果を確認する

マクロが正常に起動されていれば、「結果」というシートが新たに作られ、

- ・直近3日間、心の天気で「雨」又は「雷」を選択した児童生徒
 - ・心の天気で「雨」又は「雷」を選択する傾向が強い児童生徒（直近30日間で5回以上）
 - ・心の天気で前回の回答は「晴れ」だったが今回は「雨」又は「雷」を選択した児童生徒
 - ・前回の回答から体調が大幅に悪化した児童生徒（良い⇒悪い）
- が抽出して表示されます。

直近3日間、心の天気で「雨」又は「雷」を選択した児童生徒	心の天気で「雨」又は「雷」を選択する傾向が強い児童生徒（直近30日間で5回以上）	心の天気で前回の回答は「晴れ」だったが今回は「雨」又は「雷」を選択した児童生徒	前回の回答から体調が大幅に悪化した児童生徒
1年3組出席番号3	1年1組出席番号1	1年1組出席番号1	1年3組出席番号3
	1年2組出席番号2		

(7) 結果について

- ・あくまで声掛けの参考にするために使用してください
- ・同一の日付に複数のデータを入力した場合、結果がうまく反映されない場合があります。

留意事項

- ・回答Excelを編集するとマクロがうまく起動しないため、編集はしないでください。
（行・列の追加・削除やデータの書き換え等）
- ・質問の追加や削除を行った場合、マクロコードを書き換える必要があります。
適宜ご対応いただき、コードの書き換えに関するお問い合わせはご遠慮ください。
- ・本資料1pの留意事項にもよく目を通してご活用ください。

アンケートの設定の工夫

必須回答を使い分ける

その質問への回答を「必須」にすることで、必ず答えてもらいたい質問への回答漏れを防ぐことができます。

質問形式を使い分ける

Google フォームも Microsoft Forms も以下のような質問形式を設定できます。自由記述では、表記揺れ（例、1組と一組）が発生するため、集計方法にあわせて適切な質問形式を選択してください。

種類	Google™	Microsoft	ケース
単一回答	ラジオボタン プルダウン	選択肢	選択肢より選べる回答を 1 つに限定したい場合 ※選択肢に合わせて、次のページで飛ばす先を変更することもできます。
複数回答	チェックボックス	選択肢 ※複数回答 ON	複数の選択肢を選択できるようにしたい場合
テキスト	記述式/段落	テキスト	自由記述で回答させたい場合 ※後述の「回答の検証」もあわせてご覧ください。
ファイル	ファイルの アップロード(※)	ファイルの アップロード	画像ファイルなどを提出させたい場合 ※ Google アカウントでログインする必要があります。
○段階評価	均等目盛	評価	5 段階など設定したなかから評価させたい場合
日付や時刻	日付/時刻	日付	カレンダーなどから日付を選択させたい場合
表形式	グリッド	リッカート	表形式で回答させたい場合

「回答の検証」を活用する

例えば、あとから表計算シートで数字として集計したい質問は「整数のみ」入力できるようにするといった設定ができます。このように設定することで、自由記述の集計もある程度負担を減らすことができます。

▲Google

▲Microsoft

お問い合わせ先

文部科学省 初等中等教育局

児童生徒課 03-5253-4111

※アンケートの作成やマクロコード等、システム作成やエラー等に関するご質問についてはお控えください。

※ Microsoft Teams、Microsoft Forms、Microsoft ExcelはMicrosoft Corporation の商標です。

※ Google、Google Workspace for Education、Google Classroom、Google ドキュメント、Google スプレッドシート、Google スライド、Google フォーム、Google ドライブ、Google サイト、Google カレンダー、Jamboard、および Google Chat はGoogle LLC の商標です。

※ 心の天気は、株式会社EDUCOMの商標です。

別添資料6 付属資料 Excel のマクロコード

```
Sub 点検()  
Dim Buf, Buf2 As String, i, j As Long  
Dim wLastGyou As Long  
Dim wSheetName As Variant  
Dim wLastGyou2 As Long  
Dim rain As Long  
Dim data(), data2(), data3(), data4() As Variant  
Dim cnt, cnt2, cnt3, cnt4 As Long  
Dim str, str2, str3, str4 As String  
cnt = 0  
cnt2 = 0  
cnt3 = 0  
cnt4 = 0  
Dim ALR, BLR, CLR, DLR, MLR As Long  
Worksheets.Add after:=Worksheets(Worksheets.Count)  
ActiveSheet.Name = "隔離"  
Worksheets("Sheet1").Select  
Worksheets("Sheet1").Range("I:I").AdvancedFilter      Action:=xlFilterInPlace,  
Unique:=True  
Worksheets("Sheet1").Range("I:I").CurrentRegion.Copy  Worksheets("  隔  離  
)".Range("A:I")  
If Worksheets("Sheet1").FilterMode = True Then  
    Worksheets("Sheet1").ShowAllData  
End If  
Worksheets("Sheet1").Select  
Worksheets("Sheet1").Range("H:H").AdvancedFilter      Action:=xlFilterInPlace,  
Unique:=True  
Worksheets("Sheet1").Columns("A:G").Hidden = True  
Worksheets("Sheet1").Columns("I:N").Hidden = True  
Worksheets("Sheet1").Range("H:I").CurrentRegion.Copy  Worksheets("  隔  離  
)".Range("O:I")  
Worksheets("Sheet1").Columns("A:G").Hidden = False  
Worksheets("Sheet1").Columns("I:N").Hidden = False  
If Worksheets("Sheet1").FilterMode = True Then  
    Worksheets("Sheet1").ShowAllData  
End If
```

別添資料6 付属資料 Excel のマクロコード

```
Worksheets.Add after:=Worksheets(Worksheets.Count)
ActiveSheet.Name = "結果"
With Worksheets("結果")
.Range("A1").Value = "直近3日間、心の天気で「雨」又は「雷」を選択した児童生徒"
.Range("B1").Value = "心の天気で「雨」又は「雷」を選択する傾向が強い児童生徒（直近30  
日間で5回以上）"
.Range("C1").Value = "心の天気で前回の回答は「晴れ」だったが今回は「雨」又は「雷」を選  
択した児童生徒"
.Range("D1").Value = "前回の回答から体調が大幅に悪化した児童生徒"
.Columns("A:D").WrapText = True
.Range("A:D").ColumnWidth = 42
.Range("A:D").RowHeight = 34.2
.Range("A:D").VerticalAlignment = xlCenter
End With
For j = 2 To Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 15).End(xlUp).Row
    For i = 2 To Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 9).End(xlUp).Row
        Buf = Worksheets("隔離").Cells(i, 9).Value
        Buf2 = Worksheets("隔離").Cells(j, 15).Value
        With Worksheets("Sheet1").Range("A1").CurrentRegion
            .AutoFilter Field:=9, Criteria1:=Buf
            .AutoFilter Field:=8, Criteria1:=Buf2
        End With
        Worksheets("Sheet1").Select
        If WorksheetFunction.Subtotal(3, Worksheets("Sheet1").Range("A:A")) > 1 Then
            Worksheets("Sheet1").Range("A1").CurrentRegion.Offset(1,
0).Resize(Worksheets("Sheet1").Range("A1").CurrentRegion.Rows.Count
1).Copy Worksheets("隔離").Range("P1")
        Else
            GoTo L6
        End If
        Worksheets("隔離").Select
        wLastGyou = Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 27).End(xlUp).Row
        Worksheets("隔離").Range("P1:AC" & wLastGyou).Sort _
        Key1:=Range("V1"), _
        Order1:=xlAscending, _
        Header:=xlNo
```

別添資料6 付属資料 Excel のマクロコード

```
If Worksheets(" 隔 離 ").Cells(Rows.Count, 27).End(xlUp).Value = " 雨 " Or  
Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 27).End(xlUp).Value = "雷" Then  
    If wLastGyou > 2 Then  
        If Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 27).End(xlUp).Offset(-1, 0).Value = "  
晴れ" Then  
            Worksheets("結果").Select  
            CLR = Worksheets("結果").Cells(Rows.Count, 3).End(xlUp).Row  
            Worksheets("結果").Cells(CLR + 1, 3).Value = Buf2 & ":" & "出席番号" & Buf  
            ElseIf Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 27).End(xlUp).Offset(-1, 0).Value  
= "雨" Or Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 27).End(xlUp).Offset(-1, 0).Value  
= "雷" _  
                And Worksheets(" 隔 離 ").Cells(Rows.Count, 27).End(xlUp).Offset(-2,  
0).Value = "雨" Or Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 27).End(xlUp).Offset(-2,  
0).Value = "雷" Then  
                Worksheets("結果").Select  
                ALR = Worksheets("結果").Cells(Rows.Count, 1).End(xlUp).Row  
                Worksheets("結果").Cells(ALR + 1, 1).Value = Buf2 & ":" & "出席番号" & Buf  
            Else  
                End If  
            Else  
                End If  
            Else  
                End If  
            Worksheets("隔離").Select  
            If wLastGyou <= 30 Then  
  
                If wLastGyou < 5 Then  
                    GoTo LI  
                Else  
                    wLastGyou2 = wLastGyou - 1  
                    rain = WorksheetFunction.CountIf(Range(Cells(wLastGyou, 27),  
Cells(wLastGyou - wLastGyou2, 27)), " 雨 ") +  
WorksheetFunction.CountIf(Range(Cells(wLastGyou, 27), Cells(wLastGyou -  
wLastGyou2, 27)), "雷")  
  
                    If rain >= 5 Then
```

別添資料6 付属資料 Excel のマクロコード

```
Worksheets("結果").Select
BLR = Worksheets("結果").Cells(Rows.Count, 2).End(xlUp).Row
Worksheets("結果").Cells(BLR + 1, 2).Value = Buf2 & ":" & "出席番号" & Buf
Else
End If
End If
Else
rain = WorksheetFunction.CountIf(Range(Cells(wLastGyou, 27), Cells(wLastGyou - 30, 27)), "雨") + WorksheetFunction.CountIf(Range(Cells(wLastGyou, 27), Cells(wLastGyou - 30, 27)), "雷")
If rain >= 5 Then
Worksheets("結果").Select
BLR = Worksheets("結果").Cells(Rows.Count, 2).End(xlUp).Row
Worksheets("結果").Cells(BLR + 1, 2).Value = Buf2 & ":" & "出席番号" & Buf
Else
End If
End If
L1:
If Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 26).End(xlUp).Row >= 2 Then
If Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 26).End(xlUp).Offset(-1, 0).Value - Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 26).End(xlUp).Value = 4 Then
Worksheets("結果").Select
DLR = Worksheets("結果").Cells(Rows.Count, 4).End(xlUp).Row
Worksheets("結果").Cells(DLR + 1, 4).Value = Buf2 & ":" & "出席番号" & Buf
Else
End If
Else
End If
L6:
Worksheets("Sheet1").Range("A1").AutoFilter
Worksheets("隔離").Columns("P:AC").Clear
Next i
Next j
Application.DisplayAlerts = False
Worksheets("隔離").Delete
Application.DisplayAlerts = True
```

別添資料6 付属資料 Excel のマクロコード

```
Worksheets("結果").Select  
MXR = WorksheetFunction.Max(ALR, BLR, CLR, DLR)  
Worksheets("結果").Range(Cells(1, 1), Cells(MXR + 1, 4)).Borders.LineStyle =  
xlContinuous  
End Sub
```

別添資料6 付属資料 Google Apps Script コード [サンプル](#)

```
const INPUT_HARE = "晴れ";
const INPUT_AME = "雨";
const INPUT_KAMINARI = "雷";
const FORM_SHEETNAME = "フォームの回答 1";
const RESULT_SHEETNAME = "結果";

function performInspection() {
  try {
    var spreadsheet = SpreadsheetApp.getActiveSpreadsheet();
    var resultSheet = spreadsheet.getSheetByName(RESULT_SHEETNAME);

    if (resultSheet === null) {
      resultSheet = spreadsheet.insertSheet(RESULT_SHEETNAME);
    }

    var sheet1 = spreadsheet.getSheetByName(FORM_SHEETNAME);
    var filterMode = sheet1.getFilter() !== null;

    if (!filterMode) {
      sheet1.getRange("A1:K").getDataRegion().createFilter();
    }

    resultSheet.clear();
    setResultsHeader(resultSheet);
    var dataRange = sheet1.getRange(4, 1, sheet1.getLastRow() - 1,
sheet1.getLastColumn());
    var dataValues = dataRange.getValues();
    var startDate = new Date();

    // 1. 直近 3 回「雨」または「雷」が連続で選択された回答をフィルタリング
    var filteredData = filterRecentConsecutiveResponses(dataValues);
    writeFilteredData(resultSheet, filteredData, 1);

    // 2. 直近 30 日間の範囲内かつ「雨」または「雷」が 5 回以上選択された回答をフィルタリング
    var filtered30Data = filterRecentCountResponses(dataValues, startDate);
    writeFilteredData(resultSheet, filtered30Data, 2);
```

別添資料6 付属資料 Google Apps Script コード [サンプル](#)

```
// 3. 前回の回答は「晴れ」だったが今回は「雨」又は「雷」を選択した児童生徒
var filteredHareData = filterPreviousHareResponses(dataValues);
writeFilteredData(resultSheet, filteredHareData, 3);

// 4. 前回体調がよかったのに悪くなってしまった子供の抽出
var filteredCompData = filterDeterioratedResponses(dataValues);
writeFilteredData(resultSheet, filteredCompData, 4);

} catch (e) {
  Logger.log("エラーが発生しました: " + e.toString());
}
}

function setResultsHeader(sheet) {
  var headerValues = [
    ["直近 3 日間、心の天気で「雨」又は「雷」を選択した児童生徒",
    "心の天気で「雨」又は「雷」を選択する傾向が強い児童生徒(直近 30 日間で 5 回以上)",
    "心の天気で前回の回答は「晴れ」だったが今回は「雨」又は「雷」を選択した児童生徒",
    "前回の回答から体調が大幅に悪化した児童生徒"]
  ];
  sheet.getRange(1, 1, 1, 4).setValues(headerValues);
  sheet.getRange("A:D").setWrap(true);
  sheet.setColumnWidths(1, 4, 300);
  sheet.setRowHeight(1, 34.2);
  sheet.getRange("A:D").setVerticalAlignment("middle");
  sheet.getRange("A1:D1").setFontWeight("bold");
  sheet.getRange("A1:D1").setBackground("#fff2cc");
}

function filterRecentConsecutiveResponses(dataValues) {
  var studentData = {};

  // 生徒データの作成
  dataValues.forEach(function(row) {
    var classname = row[2];
```

別添資料6 付属資料 Google Apps Script コード [サンプル](#)

```
var shusseki = row[3];
var studentId = classname + '-' + shusseki; // 生徒の ID
var studentName = row[4];
var timestamp = row[1]; // 日付
var tenkiResponse = row[6]; // 回答がある列のインデックス

if (!studentData.hasOwnProperty(studentId)) {
  studentData[studentId] = [];
}

studentData[studentId].push({
  timestamp: timestamp,
  response: tenkiResponse,
  studentName: studentName
});

var filteredData = [];
for (var studentId in studentData) {
  var submissions = studentData[studentId];

  var rainOrThunderCount = 0;
  var validSubmissions = [];

  // 日付の新しい順にソート
  submissions.sort(function(a, b) {
    return new Date(b.timestamp) - new Date(a.timestamp);
  });
  //for (var i = submissions.length - 1; i >= 0; i--) {
  for (var i = 0; i < submissions.length; i++) {
    var submission = submissions[i];

    if (submission.response === INPUT_AME || submission.response ===
INPUT_KAMINARI) {
      rainOrThunderCount++;
      validSubmissions.push(submission);
    }
  }
}
```

別添資料6 付属資料 Google Apps Script コード [サンプル](#)

```
        if (rainOrThunderCount === 3) {
            filteredData.push([studentId, submission.studentName]);
            break;
        }
    }
}
}
return filteredData;
}

function filterRecentCountResponses(dataValues, startDate) {
    startDate.setDate(startDate.getDate() - 29);
    var filteredData = dataValues.filter(function(row) {
        var timestamp = row[1];
        var tenkiResponse = row[6];
        var classname = row[2];
        var shusseki = row[3];

        var count = dataValues.filter(function(row) {
            return row[2] === classname && row[3] === shusseki;
        }).length;

        return timestamp >= startDate &&
            (tenkiResponse === INPUT_AME || tenkiResponse === INPUT_KAMINARI)
            && count >= 5;
    }).map(function(row) {
        return [row[2], row[3], row[4]];
    });
    return filteredData;
}

function filterPreviousHareResponses(dataValues) {
    var countByPerson = {};
    var filteredData = dataValues.filter(function(row) {
        var tenkiResponse = row[6];
        var classname = row[2];
```

別添資料6 付属資料 Google Apps Script コード [サンプル](#)

```
var shusseki = row[3];

var key = classname + "-" + shusseki;

if (!countByPerson[key]) {
  countByPerson[key] = {
    count: 1,
    previousResponse: tenkiResponse
  };
} else {
  countByPerson[key].count++;
}

// 前は「はれ」だったが今回は「あめ」または「かみなり」の場合に抽出
if (
  countByPerson[key].count >= 2 &&
  (countByPerson[key].previousResponse.toString() === INPUT_HARE) &&
  (tenkiResponse === INPUT_AME || tenkiResponse === INPUT_KAMINARI)
) {
  countByPerson[key].previousResponse = tenkiResponse;
  return true;
}

countByPerson[key].previousResponse = tenkiResponse;
return false;}).map(function(row) {
  return [row[2], row[3], row[4]];
});
return filteredData;
}

function filterDeterioratedResponses(dataValues) {
  var countByPersonComp = {};
  var filteredData = dataValues.filter(function(row) {
    var genkiresponse = row[5];
    var classname = row[2];
    var shusseki = row[3];
```

別添資料6 付属資料 Google Apps Script コード [サンプル](#)

```
var key = classname + "-" + shusseki;
if (!countByPersonComp[key]) {
  countByPersonComp[key] = {
    count: 1,
    previousResponse: genkiresponse
  };
} else {
  countByPersonComp[key].count++;
}

// 前は「5」だったが今回は「1」の場合に抽出
if (countByPersonComp[key].count >= 2 &&
countByPersonComp[key].previousResponse === 5 && genkiresponse === 1) {
  countByPersonComp[key].previousResponse = genkiresponse;
  return true; // 抽出対象としてフィルタリング
}

countByPersonComp[key].previousResponse = genkiresponse;
return false;
}).map(function(row) {
  return [row[2], row[3], row[4]];
});
return filteredData;
}

function writeFilteredData(sheet, filteredData, column) {
  if (filteredData.length > 0) {
    var uniqueData = [];
    filteredData.forEach(function(row) {
      var key = row[0] + '-' + row[1] + '-' + row[2];
      if (!uniqueData.includes(key)) {
        uniqueData.push(key);
      }
    });
  }
}
```

別添資料6 付属資料 Google Apps Script コード [サンプル](#)

```
var uniqueFilteredData = uniqueData.map(function(key) {
  var info = key.split("-");
  return [info[0] + ' ' + info[1] + '番 ' + info[2]];
});

if (uniqueFilteredData.length > 0) {
  sheet.getRange(2, column, uniqueFilteredData.length,
uniqueFilteredData[0].length).setValues(uniqueFilteredData);
} else {
  Logger.log("抽出されたデータはありません。");
}
} else {
  Logger.log("該当する回答がありません。");
}
}
```

生徒指導提要（令和 4 年 12 月改訂）（抜粋）

第 8 章 自殺

8.2 自殺予防のための学校の組織体制と計画

8.2.1 自殺予防のための教育相談体制の構築

自殺は、専門家といえども一人で抱えることができないほど重く、かつ、困難な問題です。きめ細かな継続的支援を可能にするには、校内の教育相談体制を基盤に、関係機関の協力を得ながら、全教職員が自殺予防に組織的に取り組むことが必要です。そのためには、校内研修会などを通じて教職員間の共通理解を図るとともに、実効的に機能する自殺予防のための教育相談体制を築くことが求められます。

具体的には、第一に、生徒指導部や教育相談部（教育相談係として生徒指導部内に位置付けられている場合もあります。）など、児童生徒が課題や悩みを抱えたときに対応するための既存の組織を自殺予防の観点から見直し、教育相談機能の実効性を高める必要があります。

第二に、教育相談コーディネーターと養護教諭を構成メンバーの核として位置付け、各学年や生徒指導部・保健部などの他の校務分掌と連携した体制づくりを目指すことが望まれます。その際、次の点に留意する必要があります

① 教育相談コーディネーターと養護教諭との連携を密接にする

教育相談コーディネーターと養護教諭が相談体制の中核となって、児童生徒の生活状況や心身に関する問題についての理解を深め、自殺の危険の高い生徒をスクリーニングします。また、生徒指導部や保健部と合同で生活アンケートなどを実施し、児童生徒が抱える問題点の共通理解を深めることも重要です。

② 教育相談部（教育相談係）と生徒指導部の連携を図る

非行や暴力行為などの問題行動の裏側に自殺の危険が潜んでいることも少なくありません。生徒指導部と教育相談部（教育相談係）が密接に連携して情報を共有し、そのような児童生徒にも積極的に関わっていく必要があります。

③ カウンセリングルームや保健室の日常的活用を進める

児童生徒と最も距離の近い学級・ホームルーム担任と教育相談コーディネーター、養護教諭、SC や SSW が日常的に協力し合って課題解決に取り組む姿勢を保持します。学級・ホームルーム担任は児童生徒の言動の変化に気付いた時点で情報を共有し、連携しながら対応に当たります。そのためには、保健室やカウンセリングルームを密室にせず、児童生徒にも教職員にも開かれた場にしておくことが大切です。

④ 情報を共有して協働的な教育相談体制を築く

問題を学校全体に投げかけ、情報を交換し、学校を挙げて解決に取り組んでいくことが求められます。自殺の危険の高い児童生徒を担任一人で抱え込むのではなく、チームで組織的に対応することによって初めて、安全で丁寧な関わりが可能になります。その際、面談やアンケート、家庭訪問や小中高間連絡会などで得られた情報を十分に活用しながら支援に当たります。

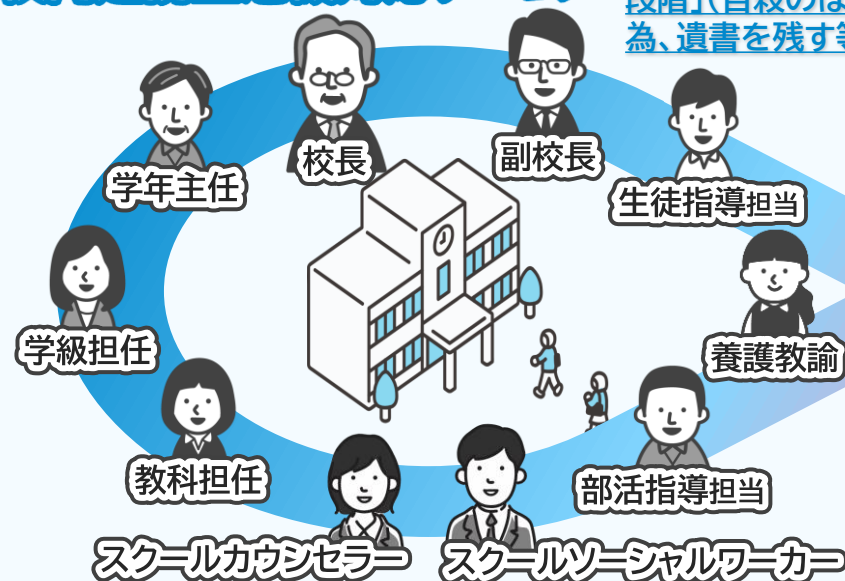
自殺危機の早期発見・早期対応や自殺未遂後の対応

ネットワーク型緊急支援チーム

実際に自殺や自殺未遂が発生した場合に対応

校内連携型危機対応チーム

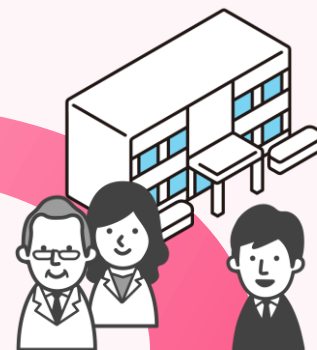
自殺やその他の重大な危険行為の「予兆段階」(自殺のほのめかし、深刻な自傷行為、遺書を残す等)から対応



連携
協働

関係部局

- 教育委員会
- 精神科医
- SC・SSWスーパーバイザー等の専門家
- 児童相談所
- 福祉部局
- 警察 等



家庭・保護者



校内連携型危機対応チームの役割

- 1 平常時における危機対応のための態勢づくりやマニュアルづくり
- 2 アセスメントに基づいて対応方針や役割分担を決定し、緊密に「報告・連絡・相談」を行う
- 3 自殺や未遂事案が発生した場合は、校長のリーダーシップの下、教育委員会等や専門家、関係機関のサポートを受けながら、全教職員の力を結集して対応
- 4 緊急ケース会議(アセスメントと対応)、本人の安全確保と心のケア

ネットワーク型緊急支援チームの役割

- 1 関係部局とも連携した緊急ケース会議や心のケア会議の開催
- 2 校内連携型危機対応チームを核に、教育委員会等、専門家、関係機関との連携・協働に基づいて、周囲の児童生徒や教職員等への心のケアを含む危機管理体制を構築
- 3 本人及び周囲の児童生徒及び教職員へのケア

▶▶▶ 自殺危機の早期発見や早期対応に取り組むほか、自殺未遂者への支援を実施

生徒指導提要（令和４年１２月改訂）（抜粋）

第８章 自殺

8.2 自殺予防のための学校の組織体制と計画

8.2.2 自殺のリスクマネジメントとクライシスマネジメント

児童生徒が自殺をほのめかしたり、深刻な自傷行為に及んだり、遺書のような手紙やメモを残して家出をしたりといった状況は、自殺やその他の重大な危険行為の「予兆」段階であると捉える必要があります。そのときには、教育相談体制の構成メンバーを基盤に、校長をリーダーとする「校内連携型危機対応チーム」を組織し、危険度に応じた対応を行います（リスクマネジメント）。

児童生徒との関わりが密接な学級・ホームルーム担任や部活動顧問などを加え、アセスメントに基づいて対応方針や役割分担を決定し、緊密に「報告・連絡・相談」を行うことを心がけます。その際、誰が児童生徒や保護者と直接関わるのが適切なのを見極め、その人を中心としてチームで対応します。平常時に、危機対応のための態勢づくりやマニュアルづくりなどを進めておくことが大切です。

実際に自殺や自殺未遂が発生した場合には、校長のリーダーシップの下、「校内連携型危機対応チーム」を中心に、教育委員会等や専門家、関係機関のサポートを受けながら、全教職員の力を結集して対応することが必要です（クライシスマネジメント）。校内連携型危機対応チームを核に、教育委員会等、専門家、関係機関との連携・協働に基づく「ネットワーク型緊急支援チーム」を立ち上げ、周囲の児童生徒や教職員等への心のケアも含む危機管理態勢を速やかに構築します。